

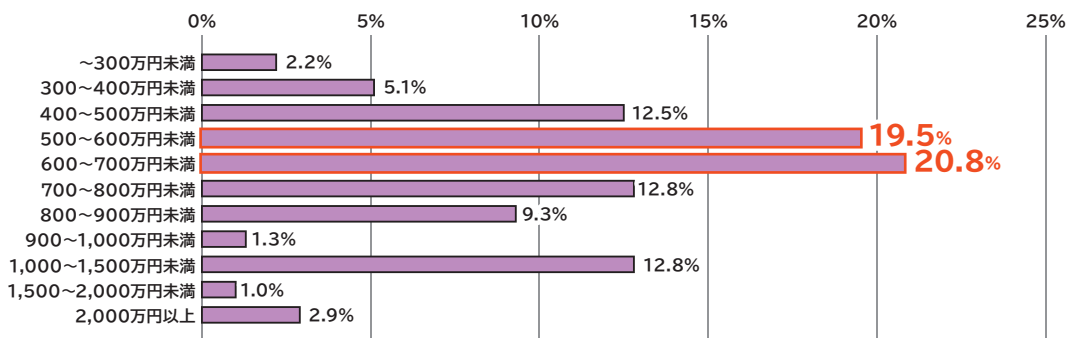
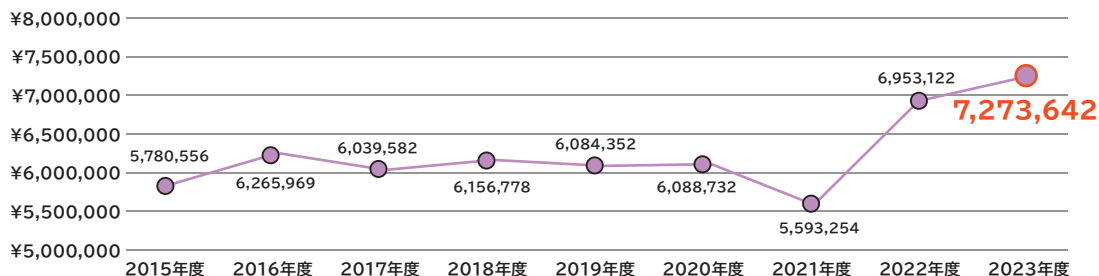
# 2023年度(第34回)新入社員の 会社生活調査

## PICKUP DATA

### 35歳時点での理想の年収額は？

## 加重平均値 過去最高の 7,273,642円

#### 加重平均値経年比較〔2015～2023年度〕



本年度の新入社員に35歳の時点での“理想の年収”を尋ねると、「600～700万円未満」が20.8%で一番多く、次に19.5%の「500～600万円未満」が続きました。

「300万円未満」が2.2%いる一方で、「2,000万円以上」も2.9%いるなど、幅広く理想の年収を挙げています。

この結果、加重平均値では7,273,642円となりました。

コロナ禍において新入社員となった2021年度の過去最低(5,593,254円)から昨年度大幅に上昇した6,953,122円をさらに約32万円上回り、過去最高を更新しました。本年度の新入社員は収入面において高い理想を持っているようです。

お問い合わせ先

学校法人産業能率大学 総合研究所 マーケティングセンター

〒158-8630 東京都世田谷区等々力6-39-15

電話：03-5758-5117 Mail:sanno\_souken@hj.sanno.ac.jp



学校法人 産業能率大学 総合研究所

## 目次

調査概要	P.1
総括	P.2
PICKUP DATA	P.3~P.8
寄稿	P.9~P.10
データ集	P.11~P.36

学校法人産業能率大学 総合研究所（東京都世田谷区、以下 本学）は、新入社員の働く意欲や新社会人としての意識、将来の目標などに関するアンケートを実施し「2023年度 新入社員の会社生活調査」としてまとめました。

この「新入社員の会社生活調査」は、1990年度から継続して実施しており、本年度で34回目となります。調査は3月29日から4月19日までに、本学が開催した新入社員研修を受講した本年度の新入社員を対象に316人から回答を得ています。

## 調査概要

1. 調査対象 ..... 本学開催の新入社員研修受講者
2. 調査時期 ..... 2023年3月29日～4月19日
3. 調査方法 ..... オンラインによる回答肢選択方式
4. 有効回答 ..... 316人（男性225人・71.2%/女性88人・27.8%/答えたくない3人・0.9%）
5. 所属企業プロフィール



従業員数	100人未満	26人 ( 8.2%)
	100人以上 500人未満	97人 ( 30.7%)
	500人以上 1,000人未満	49人 ( 15.5%)
	1,000人以上	144人 ( 45.6%)
		<hr/>
		316人

上場区分	上場企業	183人 ( 57.9%)
	非上場企業	106人 ( 33.5%)
	企業以外の法人・団体	27人 ( 8.5%)
		<hr/>
		316人

企業所在地	北海道	0人 ( 0.0%)
	東北	37人 ( 11.7%)
	関東	209人 ( 66.1%)
	中部	40人 ( 12.7%)
	近畿	14人 ( 4.4%)
	中国	1人 ( 0.3%)
	四国	0人 ( 0.0%)
	九州・沖縄	14人 ( 4.4%)
	その他	1人 ( 0.3%)
		<hr/>
		316人

## 総括

本年度の新入社員は、学生時代をコロナ禍に過ごし、学生生活や就職活動までもその環境の変化を余儀なくされました。そうした新入社員がこれから始まる会社生活をどのように過ごしたいとしているのか、また就職活動にあたってはどのようにして情報を集めたのかなどを「2023年度 新入社員の会社生活調査」で明らかにしました。



ジョブ型とメンバーシップ型の雇用制度について、どちらを望むかという設問では、「ジョブ型」が27.8%、「メンバーシップ型」が22.5%となりました。昨年度は「ジョブ型」雇用より「メンバーシップ型」雇用を求める傾向にありましたが、本年度はその傾向が逆転しました。なお、会社の雇用形態に準じる「どちらでもよい」は31.3%、「わからない」と回答した方は18.4%でした（問28）。

近年、導入する企業も増えてきた副業制度について、「利用したい」との回答割合が40.8%と過去最高となりました。「どちらかといえば利用したい」も41.1%で、合計で8割以上が副業制度の利用に興味を示しています（問9）。その理由としては、62.9%が「将来のために貯蓄したい」と回答しています（問10）。一方、「利用したくない」と回答した方の40.4%は、「時間的に難しそう」という理由を挙げました（問11）。

テレワーク制度については、オンラインによる授業や就職活動時の面接、会社説明会などの体験から、「利用したい」と「どちらかといえば利用したい」を合わせた回答割合が計85.4%に達し、過去最高となりました（問12）。この“利用したい”とする回答は、コロナ拡大前の2018年度の65.8%から、19.6ポイント増加しています。テレワークを利用したい理由は、「時間が有効に使える」が54.1%で、昨年度に比べて7ポイント増加しました。次に「通勤電車の密を避けられる」が49.6%で、昨年度比で7.1ポイント減となりました（問13）。利用したくない理由は「仕事上の質問が確認しにくい」が45.7%（昨年度比4ポイント増）、「一人で仕事するのが不安」が41.3%で、昨年度比で24.6ポイント増となりました（問14）。

企業の評判調査や業界研究のための情報源として“参考”にしたメディアを訊くと、「就職紹介サイト」が79.1%と最も多く、続いて「就職情報誌」が50.8%でした。次に、SNSなどの「YouTube」と「Twitter」がそれぞれ23.7%と20.9%で、デジタルメディアが主要な情報源となってきました（問2）。

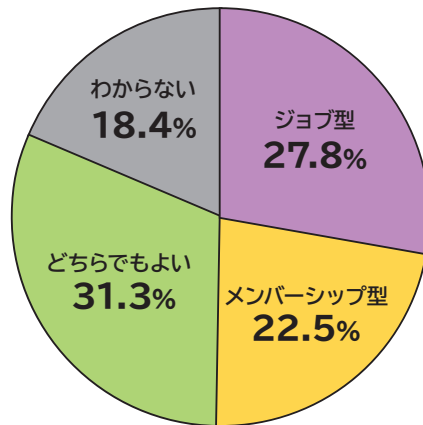
“信頼”できたメディアは、「就職紹介サイト」が67.7%と最も多く、「就職情報誌」（29.7%）と新聞（13.9%）が続きます。専門メディアの高評価と共に、新聞メディアも信頼性で評価される結果となりました（問3）。

その他、本年度の「会社生活調査」で“過去最高”を記録した回答をいくつか紹介します。まず、面接方式について対面かオンラインのどちらがやりやすいかでは、「オンライン」が37.7%で昨年度比5.3ポイント増加しました（問4）。就職活動の結果について「たいへん満足」が55.4%となり、昨年度比で1.3ポイント増加しています（問5）。また、いつまで会社勤めをしたいかでは、「65歳」が28.2%、「生涯」が12.0%となり、それぞれ昨年度比で2.0ポイント、4.6ポイントの増加となりました（問23）。さらに、将来の公的年金について、「期待している」との回答が21.3%となり、昨年度比で9.5ポイント増となっています（問24）。

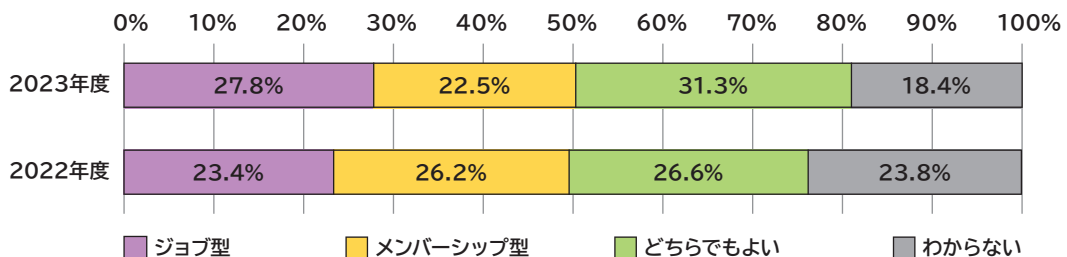
PICKUP DATA

## ジョブ型とメンバーシップ型、どちらを望む？

「ジョブ型」 **27.8%** / 「メンバーシップ型」 **22.5%**



### 経年比較〔2022～2023年度〕



ジョブ型雇用制度とメンバーシップ型雇用制度ではどちらを望むか（P.35／問28・単数回答）では、「ジョブ型」が27.8%、「メンバーシップ型」が22.5%となりました。昨年度は「ジョブ型」雇用よりも「メンバーシップ型」雇用を求める傾向にありましたが、本年度はその傾向が逆転し、より具体的な役割と成果に基づく「ジョブ型」雇用を好む傾向にあることが読み取れます。なお、会社側の雇用制度に準じる「どちらでもよい」は31.3%、「わからない」とする回答は18.4%でした。

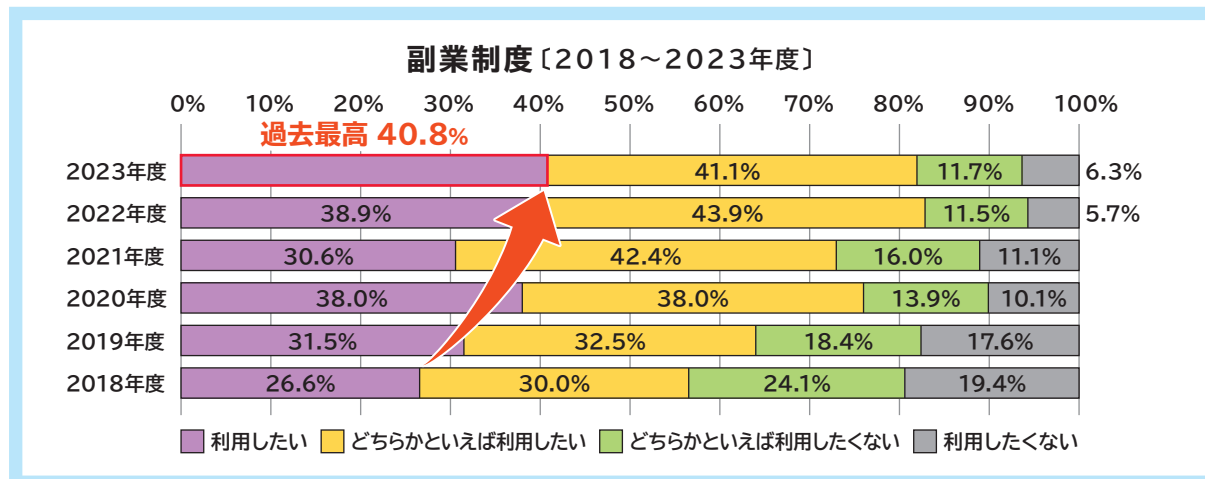
## 会社に副業制度があった場合、 どの程度利用したい？

「利用したい」 **40.8%**

過去  
最高

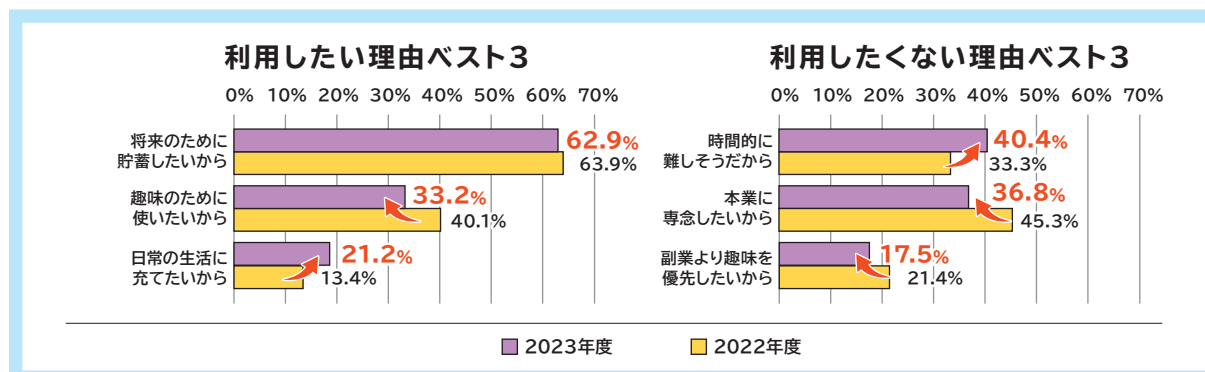
利用したい理由は？ 「将来のために貯蓄したい」 **62.9%**

利用したくない理由は？ 「時間的に難しそう」 **40.4%**



近年、導入する企業が増えてきた“副業制度”について、どの程度利用したいか（P.19／問9・単数回答）は、「利用したい」が40.8%で過去最高となりました。「どちらかといえば利用したい」の41.1%を合計すると“利用したい”という意向があるのは、81.9%となっています。

この副業制度を“利用したい”という回答は、過去最高だった昨年度（82.8%）から1.7ポイント減りましたが、この調査を開始した2018年度以降、依然として増加傾向にあり、2年連続で8割以上が“利用したい”としています。



副業制度を利用したい理由（P.20／問10・複数回答）としては、4年連続で「将来のために貯蓄したいから」（62.9%）が最も多く、次いで「趣味のために使いたいから」（33.2%）、「日常生活に充てたいから」（21.2%）と続きます。「趣味のため」は昨年度比で6.9ポイント減少し、「日常生活に充てたいから」は7.8ポイント増となりました。この結果からは、日本の平均賃金が30年間にわたり増えていない現状から、経済的な不安を見て取れます。

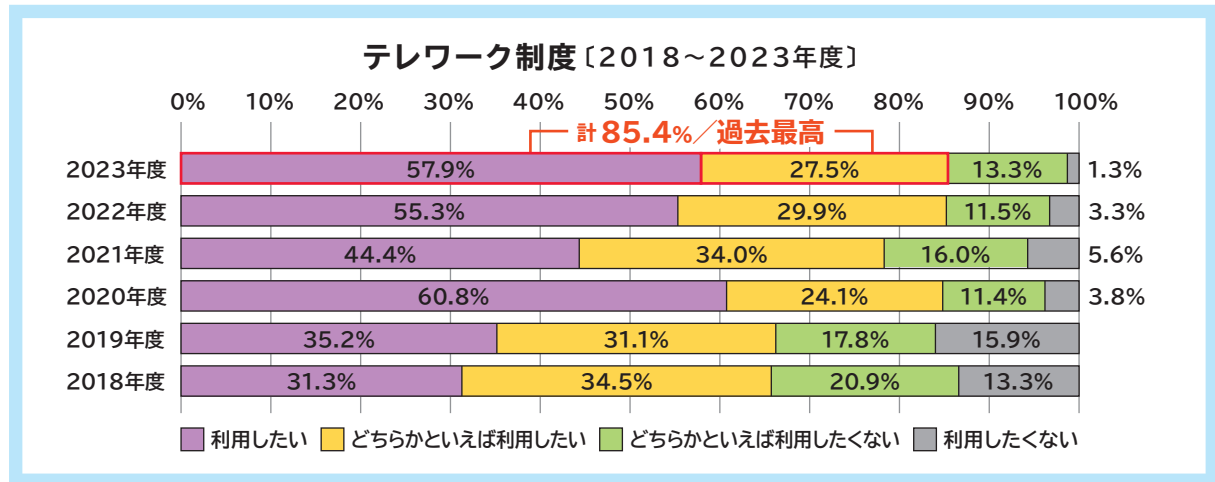
一方、利用したくない理由（P.21／問11・単数回答）としては、「時間的に難しそうだから」（40.4%）が最も多く、次いで「本業に専念したいから」（36.8%）、「副業より趣味を優先したいから」（17.5%）が挙げられています。昨年度比で「本業に専念」が8.5ポイント、「趣味を優先」が3.9ポイントと共に減少しました。

副業制度を利用したい新入社員は、将来への備えや日常生活のためとする堅実派が増えている一方で、「趣味のため」とする新入社員は、副業制度利用の希望有無に関わらず減少傾向にあります。

テレワーク制度があれば？ ..... 「利用したい」 **85.4%** 過去最高

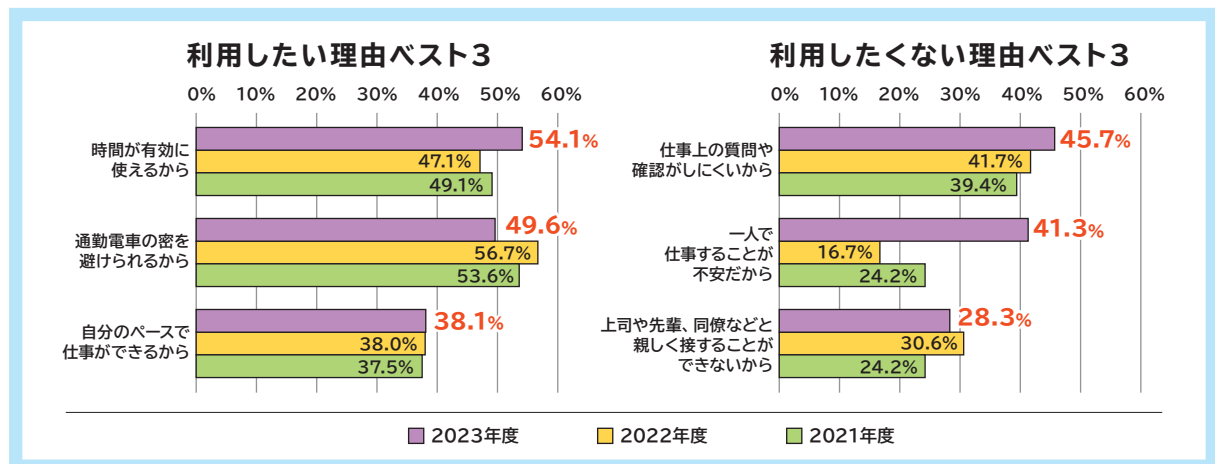
利用したい理由 ..... 「時間が有効に使えるから」 **54.1%** 過去最高

利用したくない理由 ..... 「質問や確認がしにくい」 **45.7%** 過去最高



働き方改革として注目を集め、コロナ禍によって導入が一気に進んだテレワーク制度（P.22／問12・単数回答）について、「利用したい」と「どちらかといえば利用したい」の合計が85.4%となりました。「利用したい」という意向は昨年度から0.2ポイント増え、過去最高を更新しました。

特に「利用したい」の回答割合は57.9%で、コロナが拡大した2020年度（60.8%）に次ぐ高い結果となりました。さまざまな規制等が解除され、テレワークを減らす企業も増えていますが、学生時代からテレワークに慣れている新入社員、とりわけ効率重視と言われるZ世代では、テレワーク利用の要望が定着してきているようです。

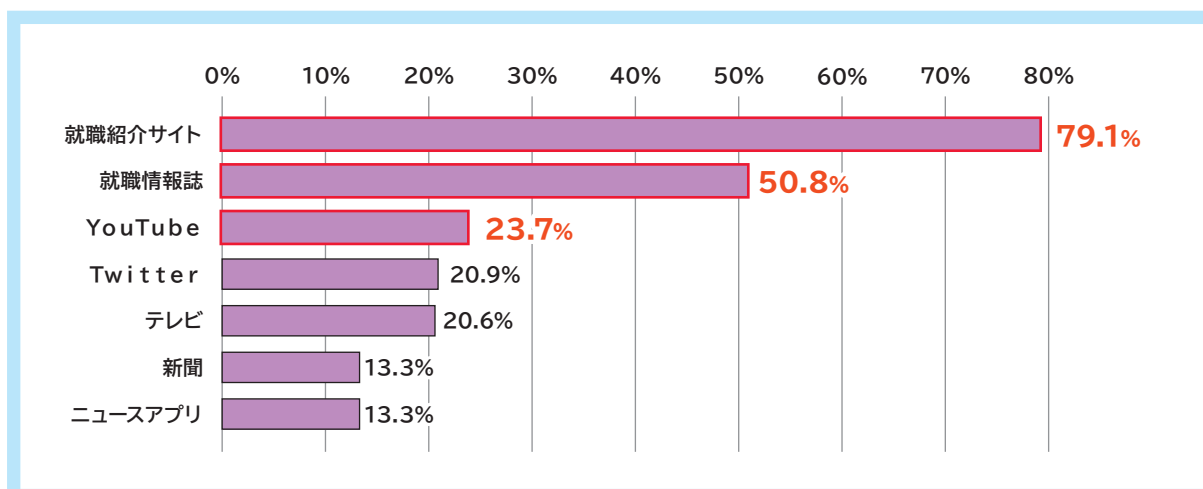


テレワーク制度を利用したい理由（P.23／問13・複数回答）は、「時間が有効に使えるから」が54.1%で最も多く、次いで「通勤電車の密を避けられるから」が49.6%、「自分のペースで仕事ができるから」が38.1%と続きました。昨年度と比べると1位と2位が入れ替わり、「時間を有効に使える」は過去最高となりました。一方、「密を避けられる」という回答はやや減少傾向にあります。

利用したくない理由（P.24／問14・複数回答）としては、「仕事上の質問や確認がしにくい」が過去最高の45.7%で最も多く、次いで「一人で仕事することが不安だから」が41.3%でした。この不安要素は昨年度の16.7%（6位）から大幅に上昇しました。

## 企業の評判や業界研究の情報源は？

「就職紹介サイト」**79.1%** / 「就職情報誌」**50.8%**



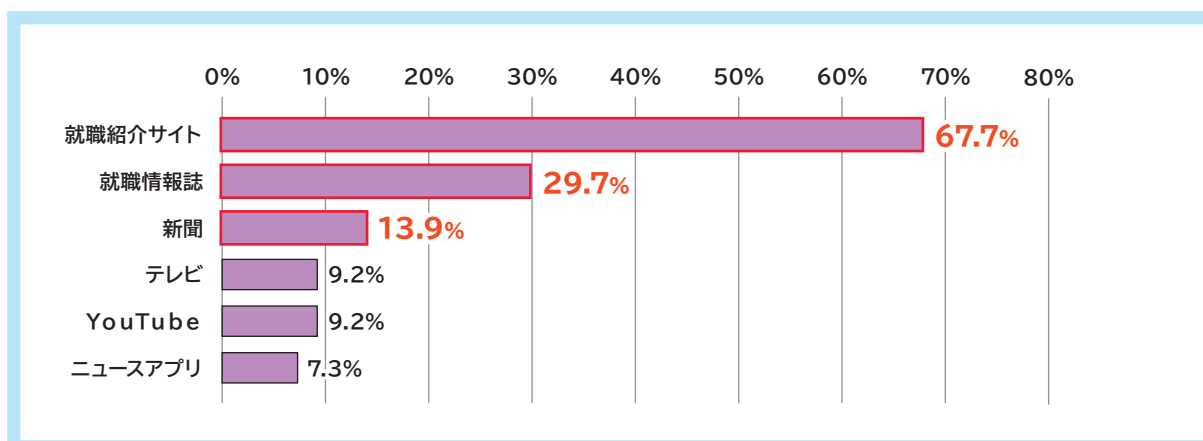
企業の評判調査や業界研究のための情報源として“参考”にしたメディア（P.13／問2・複数回答）は、「就職紹介サイト」が79.1%で1位となり、次に「就職情報誌」が50.8%と続きます。

さらに、「YouTube」（23.7%）や「Twitter」（20.9%）といったソーシャルメディアも、情報源として上位にランクインしました。これらの結果は、今後の企業の採用戦略において、ソーシャルメディアの効果的な活用がより一層重要となる可能性を示唆しています。

このほか、「テレビ」が20.6%、「新聞」が「ニュースアプリ」と並んで13.3%となりました。

## 情報源として“信頼”できたのは？

「就職紹介サイト」 「就職情報誌」 「新聞」



次に、これら参考にした情報源が実際に“信頼”できたメディアであったかを尋ねました（P.13／問3・複数回答）。その結果、情報源として活用した「就職紹介サイト」（67.7%）が他の情報源を大きく上回り、1位となりました。続いて、「就職情報誌」（29.7%）が2位、情報源としては6番目だった「新聞」（13.9%）が3位にランクされました。

さらに、「テレビ」と「YouTube」がともに9.2%、「ニュースアプリ」が7.3%となりました。

本年度の「会社生活調査」において、  
過去最高を更新した項目や今回初めて調査した項目など、  
特徴的な回答についてピックアップしました！



## 過去最高を更新！



### 面接はオンライン？ 対面？ ..... 「オンライン」 **37.7%** 過去最高

オンライン面接と対面面接、どちらがやりやすいか (P.14/問4・単数回答) では、「対面の方がやりやすい」との回答が41.5%と多い一方で、「オンラインの方がやりやすい」との回答が昨年度から5.3ポイント増加し、37.7%に達して過去最高となりました。

### 就職活動の結果には満足？ 不満？ ..... 「たいへん満足」 **55.4%** 過去最高

就職活動の結果に満足しているか (P.15/問5・単数回答) では、「たいへん満足」が55.4%で過去最高となりました。

### 将来の公的年金を期待しているか？ ..... 「期待している」 **21.3%** 過去最高

将来支給される公的年金を期待しているか (P.32/問24・単数回答) では、全体として「どちらかといえば期待していない」が30.7%で最も多い結果となりました。それに対し、「期待している」が21.3%で、昨年度の11.8%からほぼ倍増し、過去最高を記録しました。さらに、「どちらかといえば期待している」(20.9%)の回答も含めると合計42.2%となり、これもまた過去最高となりました。

### いつまで会社勤めをしたいか？ ..... 「65歳」 **28.2%** 過去最高 「生涯」 **12.0%** 過去最高

いつまで会社勤めなどの被雇用者として働きたいか (P.31/問23・単数回答) では、再雇用定年の年齢である「65歳」(28.2%)と「生涯」(12.0%)の2つの回答が過去最高となりました。一方、定年年齢の「60歳」(38.3%)は依然として一番多い回答ではあるものの、過去2番目に低い結果となりました。



# 新規調査項目



## 同じ会社に長く勤めたいと思うか？ ..... 「思う」 **42.4%**

同じ会社に長く勤めたいと思うか (P.35/問27・単数回答) では、「思う」が42.4%、「どちらかといえば思う」の41.5%でした。これらを合わせると、83.9%の新入社員が「思う」と回答し、全体の8割以上が長く勤めたいと考えていました。なお、将来のキャリアについて (P.26/問16・単数回答) 尋ねた回答では、「独立して自分の会社を起ち上げる」は6.0%にとどまりました。また、終身雇用制度 (P.34/問26・単数回答) を「望む」との回答は64.9%で、政府の意向とは裏腹に、2021年度から増加傾向にあります。

## 学生時代、勉強をしっかりとこなったか？ ..... 「やや当てはまる」 **43.7%**

学生時代に学校の勉強をしっかりとこなったか (P.27/問17・単数回答) では、「やや当てはまる」が最も多く、43.7%を占めました。「かなり当てはまる」(16.5%)を合わせると“当てはまる”の回答割合は60.2%に上り、過半数が学校の勉強にしっかりと取り組んできたことが見て取れます。

## 学校以外の勉強をしっかりとこなったか？ ..... 「やや当てはまる」 **32.0%**

学生時代に資格取得などの学校以外の勉強をしっかりとこなったか (P.27/問18・単数回答) では、“当てはまる”と“当てはまらない”の回答がほぼ半々の割合となりました。「やや当てはまる」が32.0%、「かなり当てはまる」が12.0%となり、“当てはまる”全体で44.0%でした。一方、「全く当てはまらない」が13.9%、「あまり当てはまらない」が25.0%で、“当てはまらない”全体は38.9%でした。

### 就業時間外、

## 休日に自己啓発に充てたい時間は？ ..... 「年10~20時間」 **14.6%**

就業時間外や休日において、どの程度の時間を自己啓発に充てたいか (P.28/問19・単数回答) では、「年10時間以上20時間未満」が最も多く、14.6%となりました。これは月換算で約50分以上1時間40分未満となり、やや少ない印象です。次に「年5時間以上10時間未満」が14.2%と続きます。一方で、「年200時間以上」が13.6%で3位となりました。これは月換算で約16時間40分以上となり、自己啓発に対する意欲を持つ新入社員が少なからずいることが確認できました。また、これらの結果から、自己啓発に対する意欲は二極化傾向にありそうです。

## 自己啓発の内容は？ ..... 「資格取得の勉強」 **63.0%**

自己啓発でどのような学習体験をしたいか (P.28/問20・複数回答) では、「資格取得の勉強」が63.0%で一番多く、続いて「読書」(52.5%)との回答でした。次に「eラーニングの受講」(30.1%)、「YouTubeの視聴」(19.0%)との結果となりました。



学校法人産業能率大学 経営管理研究所  
戦略・ビジネスモデル研究センター  
主任研究員

## 山中 悠輝 Yuuki Yamana

精密機器メーカーの法人営業を経て、本学に入職。教育・研修のアドバイザー職を経験した後、現職。研修講師として、若手～中堅社員層を対象としたリーダーシップやキャリア、各種スキル研修を実施。

### 人事・教育担当者の声

人事・教育担当者に「今年の新入社員や若手社員の印象はいかがですか？」と尋ねると、大体以下のような回答が出てきます。

「例年に比べて控えめな印象です。反応があまりないと言えますが、直接質問するときちゃんと答えるので、自分の考えはしっかり持っているようです。しかし、それを積極的に表現することはあまりないようです。」

「非常に真面目です。言われたことはきちんと実行します。ただ、自己主導で発信したり行動したりすることは少ないです。また、失敗を恐れる傾向も見受けられます。」

「何か疑問点があったら質問してほしいと言っても、なかなか質問をしてくれません。一方で、こちらから個別に尋ねると質問したいことがあることが多いです…」

さて、みなさまの会社の新入社員はいかがでしょう？

### データで見る今年の新入社員

それでは、改めて今年の新入社員へのアンケートを踏まえ、特徴をいくつか確認していきましょう。

- ①あなたは「働く」上で、どのようなことが自分にとって重要だと感じますか（3つまで選択可）という質問に対して、「長期間、安心して働けること（50.9%）」、「仕事を通じて自己成長を遂げること（46.2%）」が上位にきました。（問7）
- ②副業制度について、「利用したい」との回答割合が40.8%と過去最高を記録しました。「どちらかといえば利用したい」も41.1%で、合計すると副業に興味があるという人が8割以上に上りました。（問9）
- ③働く上で企業に求めるものは何ですかという設問（当てはまるものをすべて選択）では、「長期的な安定性（67.4%）」、「将来の成長性（53.2%）」が上位にきました。（問15）
- ④就業時間外や休日において、どの程度の時間を自己啓発に充てたいかでは、「年10時間以上20時間未満（14.6%）」が最も多い結果となりました。（問19）

これらの結果から、「生活基盤を安定させることを優先し、成長可能な企業で働き、できれば副業で収入を増やしたい。そのためにも自己成長に努めよう。自己啓発には月に1～2時間充てよう。」という意識が読み取れます。将来への不安感が際立ちますが、自己投資については多少甘い見通しも感じられます。また、プライベートの時間もしっかり確保したいという意識も見て取れます。

## 新入社員研修の現場から見えてきたもの

次は定性的な側面から新入社員の特徴を考察していきます。私は、毎年新入社員研修や新入社員フォロー研修に多数登壇しており、延べ1,000人以上の新入社員と接点機会があります。そこで感じたことは以下のとおりです。

### 1. 将来不安はとにかく強い

特にフォローアップ研修でこれを感じます。「このままでよいのか」「他の同期と比べてどうなのか」「将来どうなるのか全く想像がつかない」といった意見が多いです。これは本学の能力開発のための診断ツールであるビジネス基礎力診断で、「将来構想力」という項目が低い結果であることとも一致しています。受講者に対してその背景を確認すると「仕事の任せ方や成長実感のなさ」によることから来ているようです。一方で、すでに仕事を任せ、活躍し始めている方はしっかりと次のステップもイメージできています。

### 2. 現実的、あるいは冷めている

暗い話題が多いためか、前向きな活力に満ちた人は少ないです。「生活のために仕事はしっかりやる」といった声が多く聞かれます。それが自分自身に言い聞かせるような発言であることも感じます。あまり高望みしない姿勢は現実的とも言えますが、同時に冷めた印象も受けます。

### 3. あいまいさに不満・不安を持つ

期待はしないようにしつつも、しっかりと不満は持っています。「上司の指示があいまいだ」と不満を吐露します。事前に目的や手順を明確に説明されないことがストレス源のようです。「自分から質問すればいいのでは？」と言うと、不満気な表情を浮かべながら「そうですね」と回答します。自分から行動を起こすという考え方になかなか至らないようです。

### 4. 想像力は高い

研修内で自由度の高いワークをおこなうと、ユニークなアイデアが多く、こちらの予想を大幅に上回るアウトプットを出してくれます。彼ら彼女らの可能性を引き出すためには、遊び心を持たせるための仕掛けや働きかけが重要になりそうです。

## 新入社員とどう関わるか？

私が新入社員と接する中で、彼ら彼女らから「仕事に対して期待を持ってない」という意見をよく耳にします。そのような状態を打破するために、ネガティブな発言が社内で飛び交っていないか？会社全体で閉塞感を醸し出していないか？新入社員の周辺の社員が「どうせ結果は変わらない」「頑張っても給料は上がらない」といった発言をしていないか？など、新入社員を取り巻く環境について再評価してみることをおすすめします。

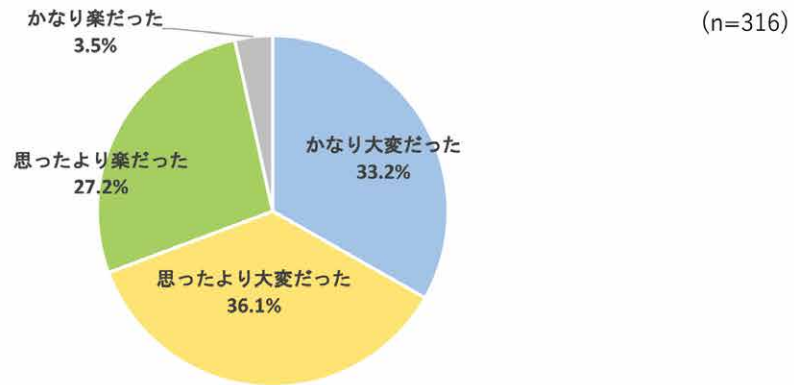
また、新入社員に対して「過度にリスクを避け、確実にできる仕事しか振らない」「無理をさせないようにしましょう」という姿勢が見えないでしょうか？期待をかけられなければ、新入社員はなかなか自ら行動に移すことはありません。上司や先輩としては、新入社員を丁寧に教育したいという気持ちは分かります。しかし、閉塞感を打開し、向上心を引き出すような行動を自ら示すことも大切です。私たち教育する立場の人間も、常に‘何ができるか’という前向きな意識で仕事に取り組み、新入社員の鏡になる行動を心がけたいものです。

2023年度(第34回)新入社員の  
会社生活調査

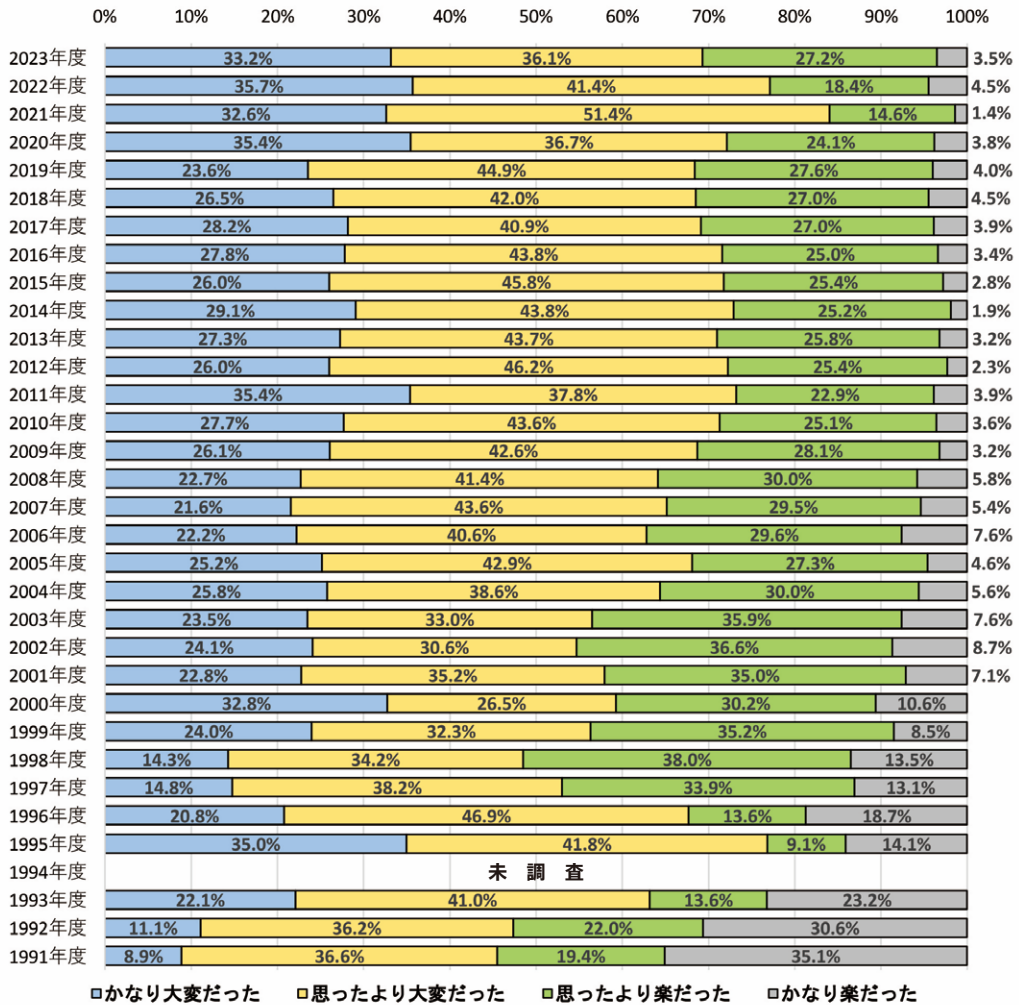
データ集

問 1

就職活動を振り返って、どのように感じましたか？(1つ選択)

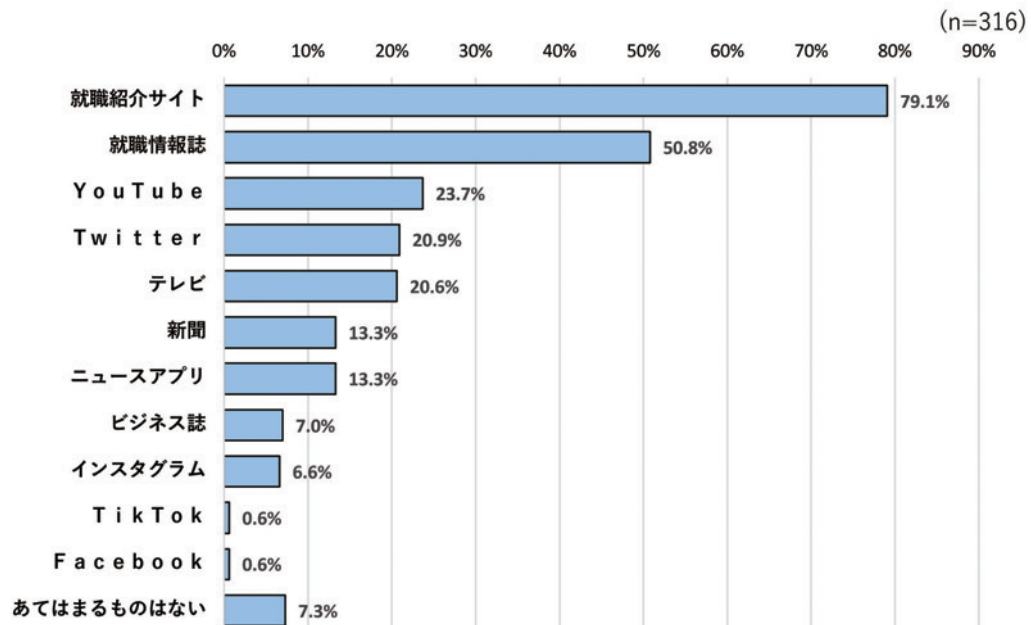


経年比較：全体〔1991-2023年度〕



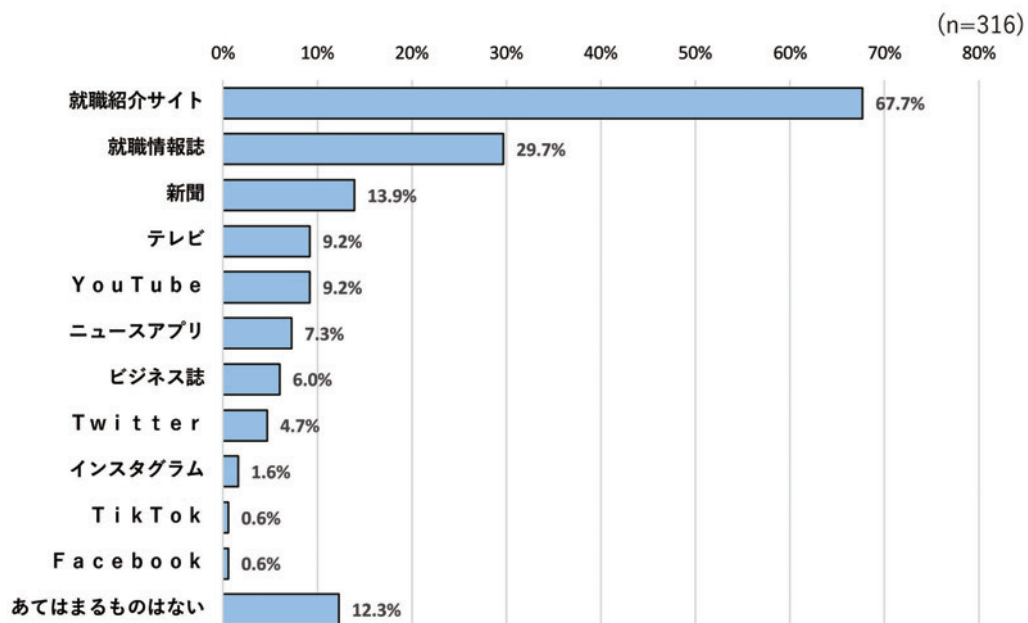
## 問 2

次の中で企業の評判調査や業界研究のための情報源として“参考”にしたメディアはありますか？（当てはまるものをすべて選択）



## 問 3

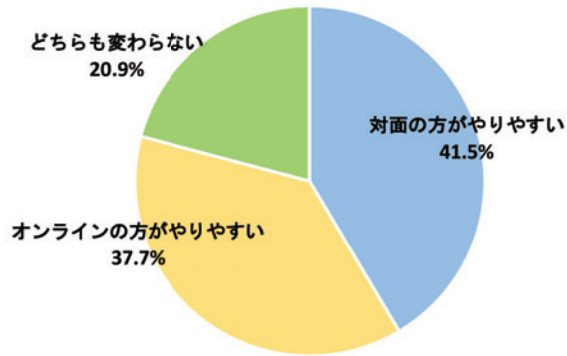
次の中で企業の評判調査や業界研究のための情報源として“信頼”できたメディアはありますか？（当てはまるものをすべて選択）



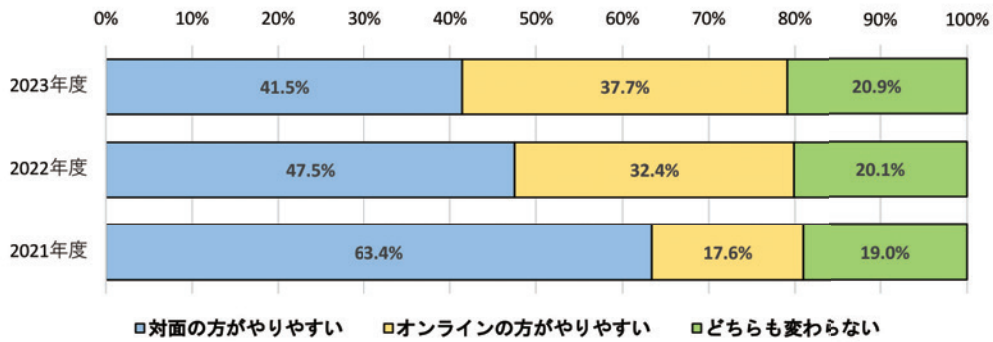
問 4

オンラインによる面接と対面での面接では、どちらがやりやすいですか？  
(1つ選択)

(n=316)

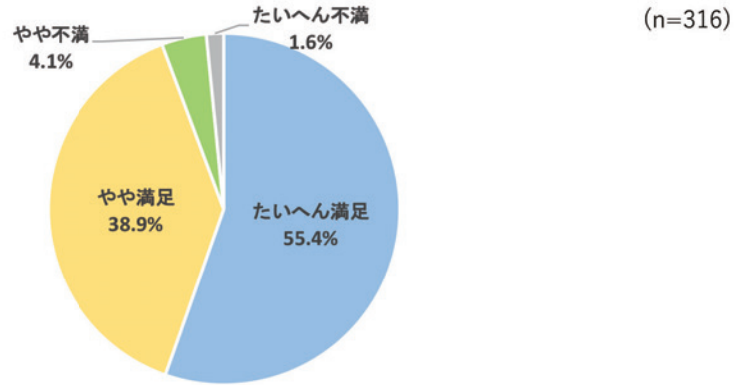


経年比較〔2021-2023年度〕

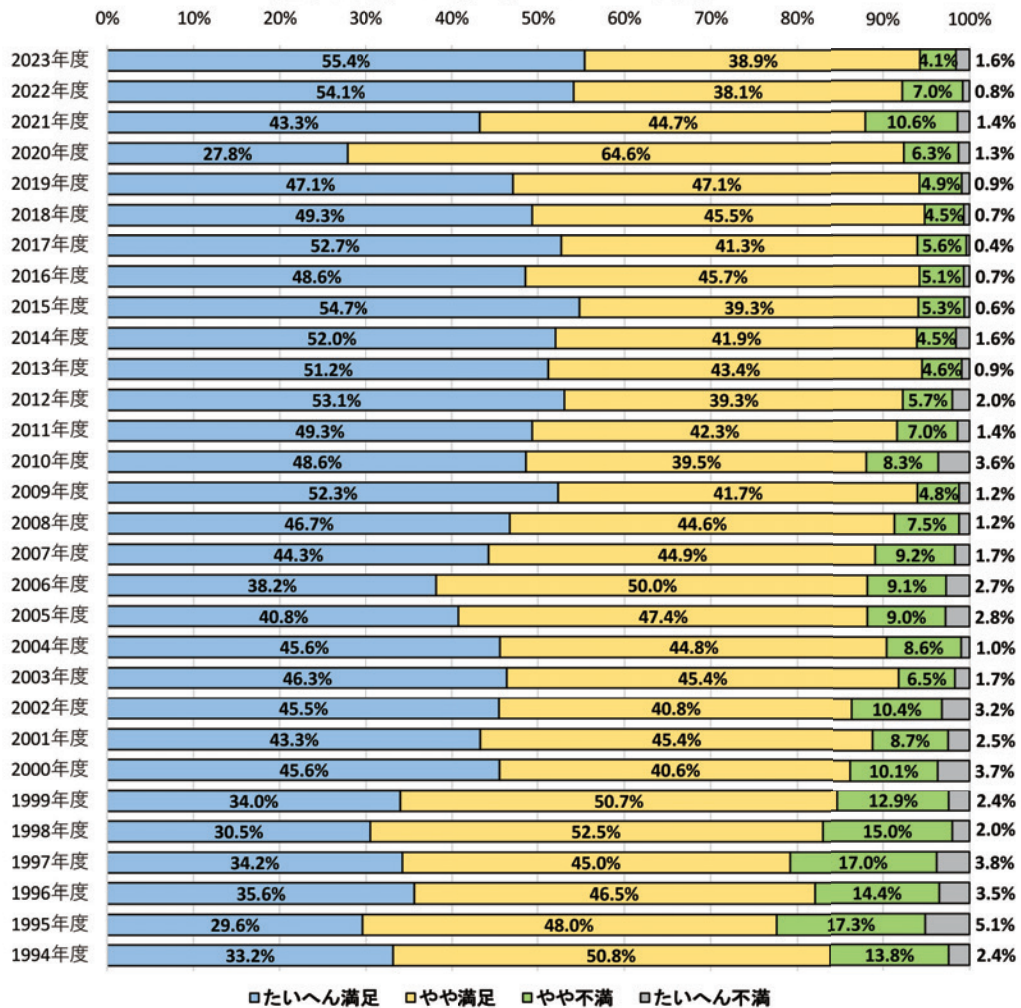


問 5

就職活動の結果に満足していますか？(1つ選択)



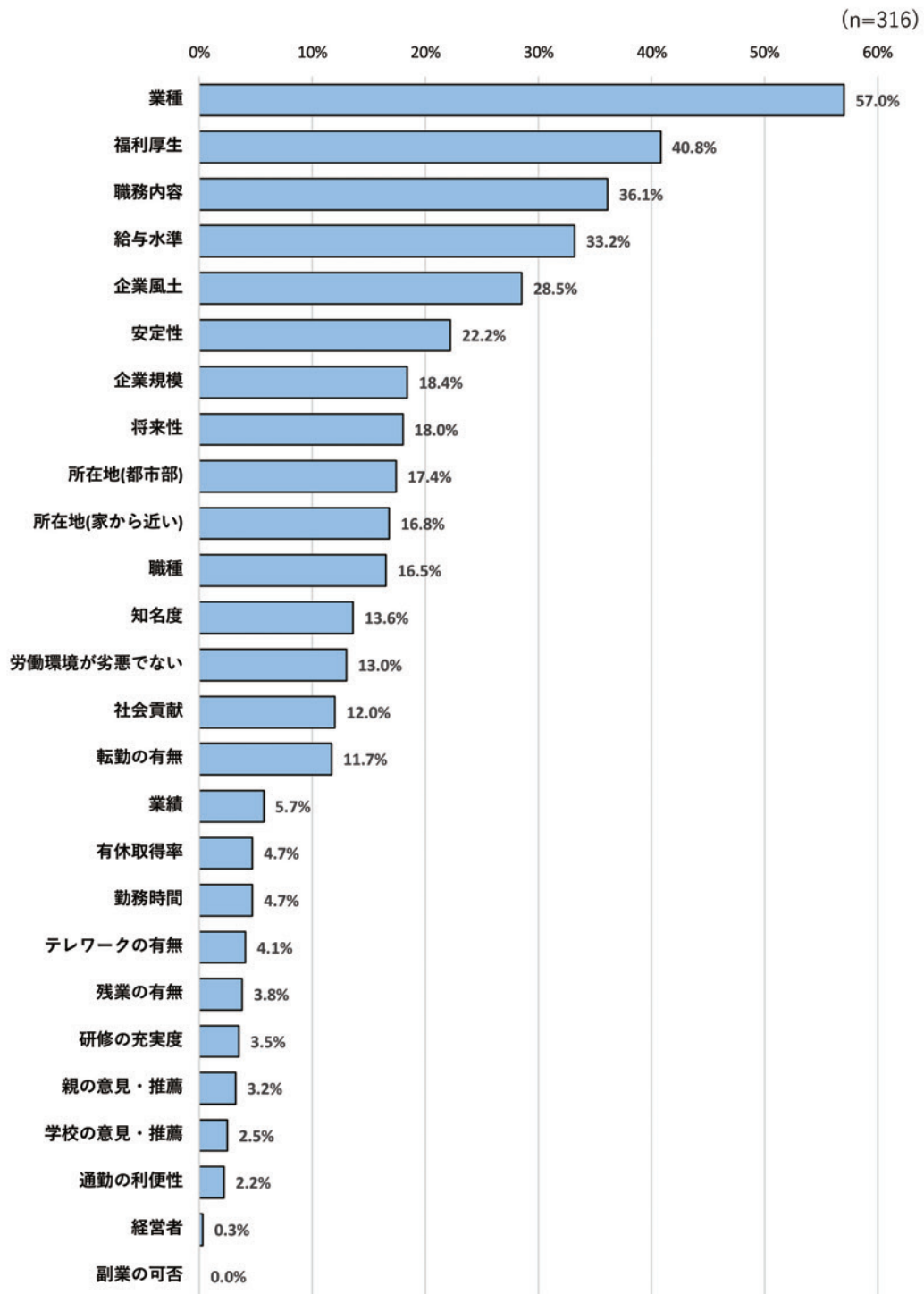
経年比較：全体〔1994-2023年度〕





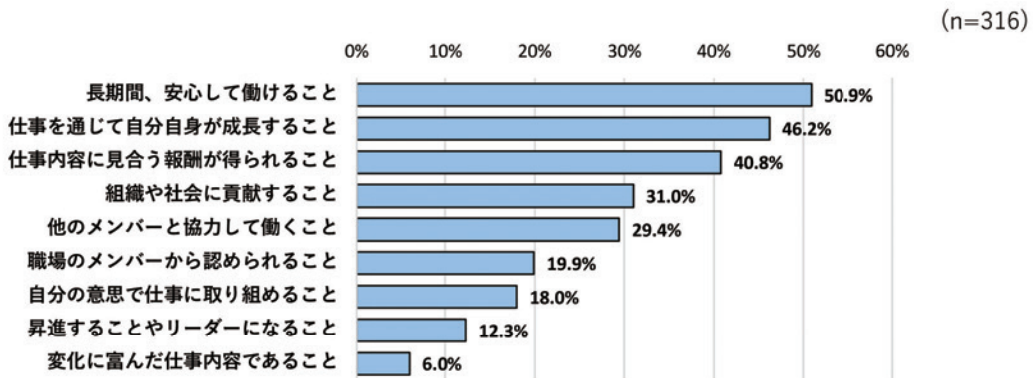
問 6

就職先を選ぶ際に重視した点は何ですか？（5つまで選択可）

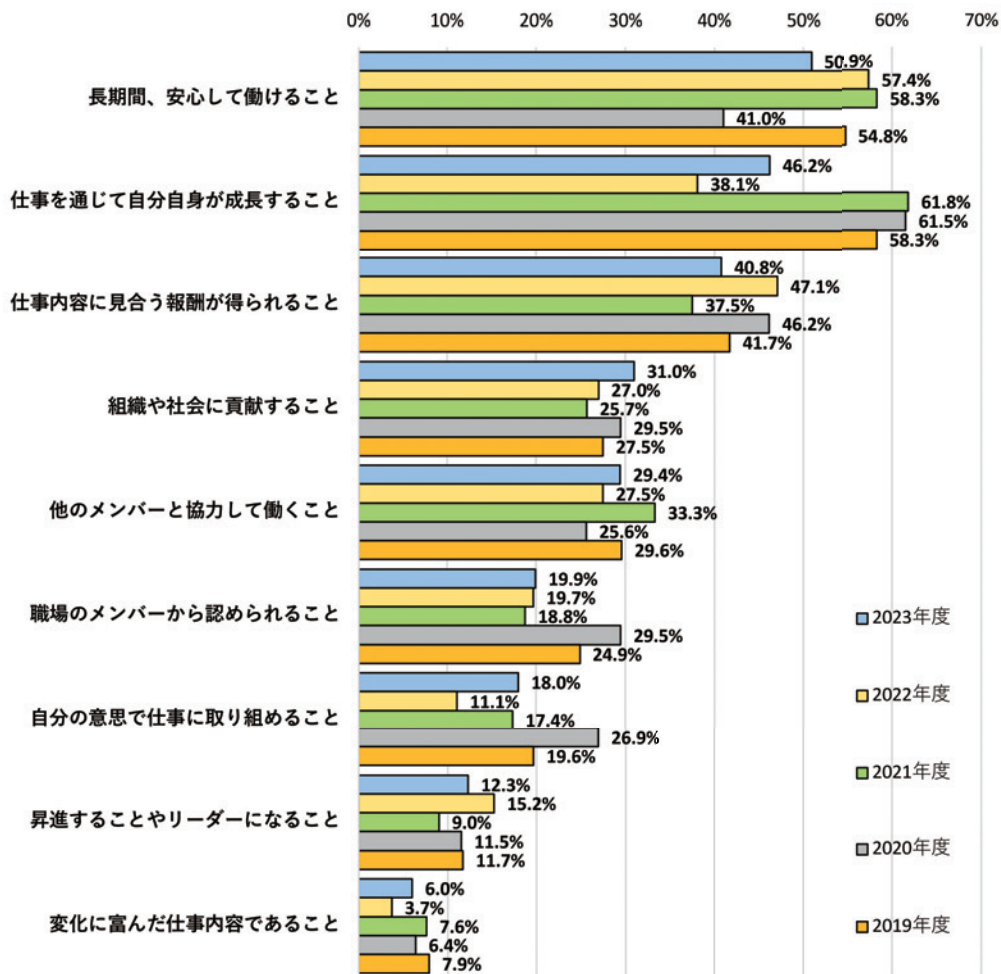


問 7

あなたは「働く」上で、どのようなことが自分にとって重要だと感じますか？（3つまで選択可）

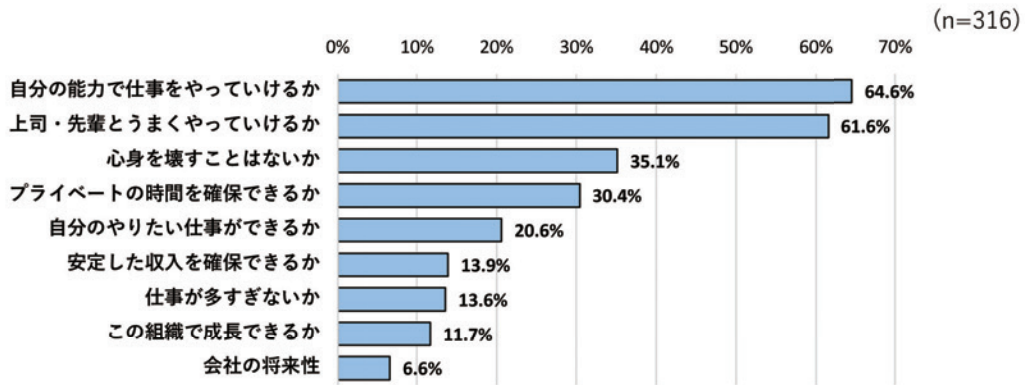


経年比較：〔2019-2023年度〕

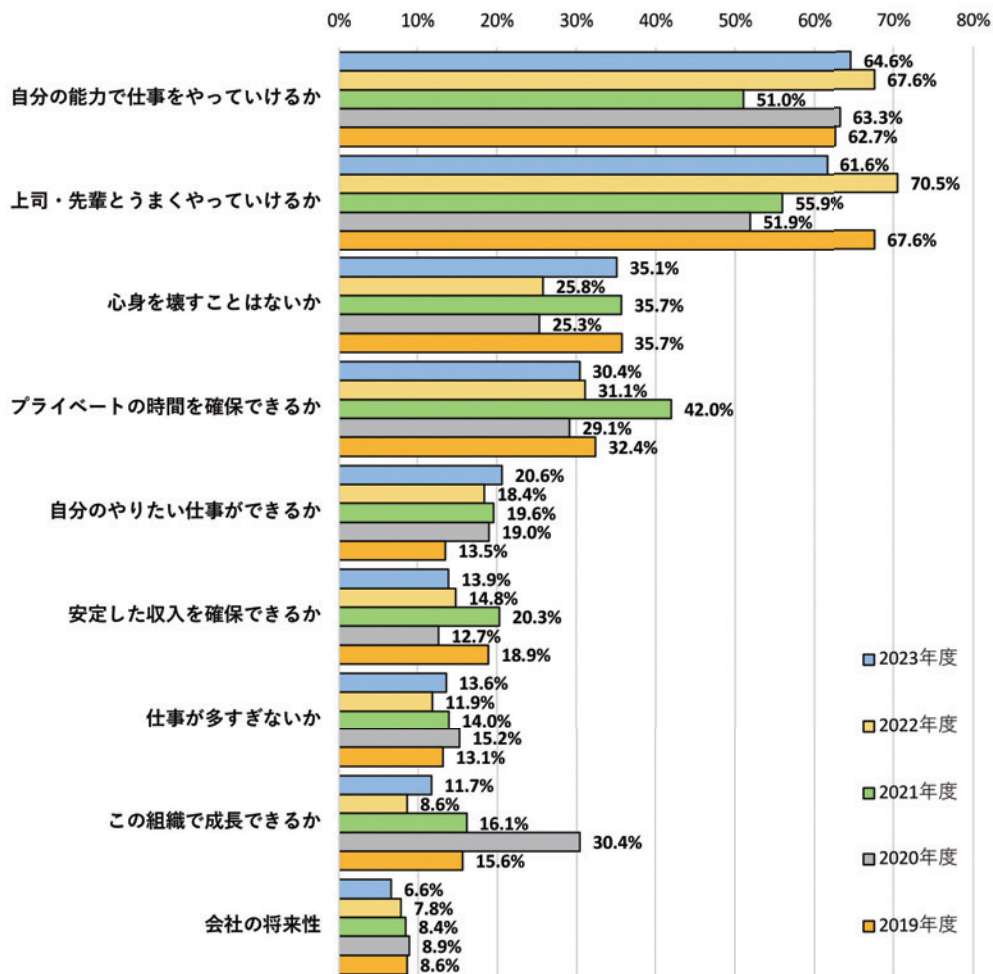


問 8

働き始めるにあたって、不安に思っていることは何ですか？  
(3つまで選択可)

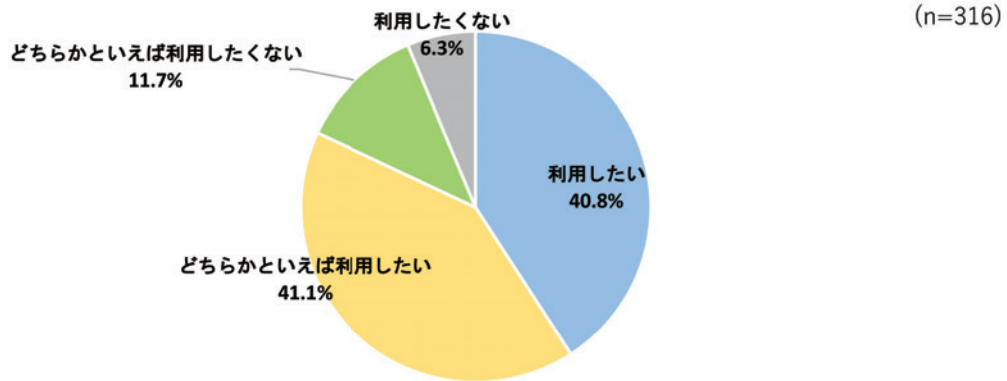


経年比較〔2019-2023年度〕

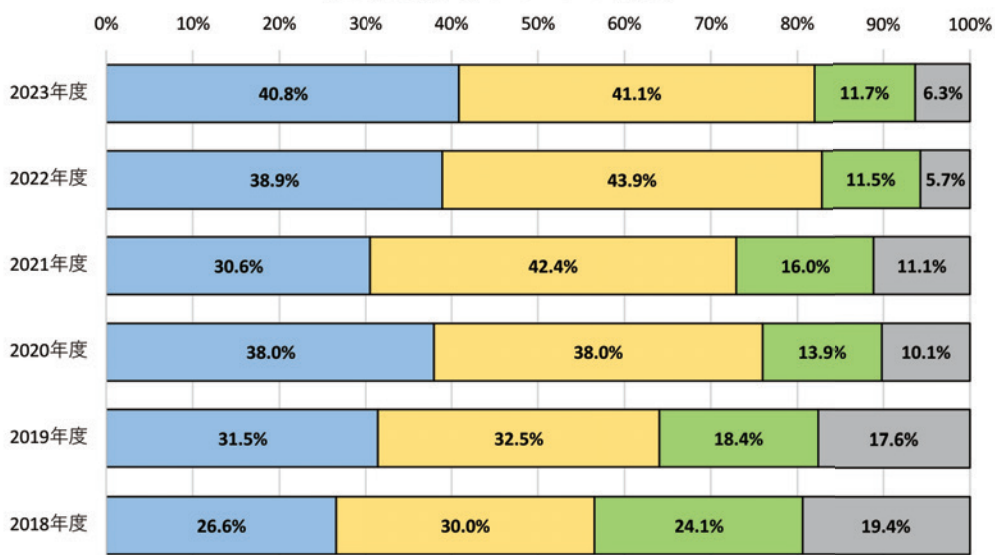


問 9

会社に副業容認制度があった場合、どの程度利用したいと思いますか？  
(1つ選択)



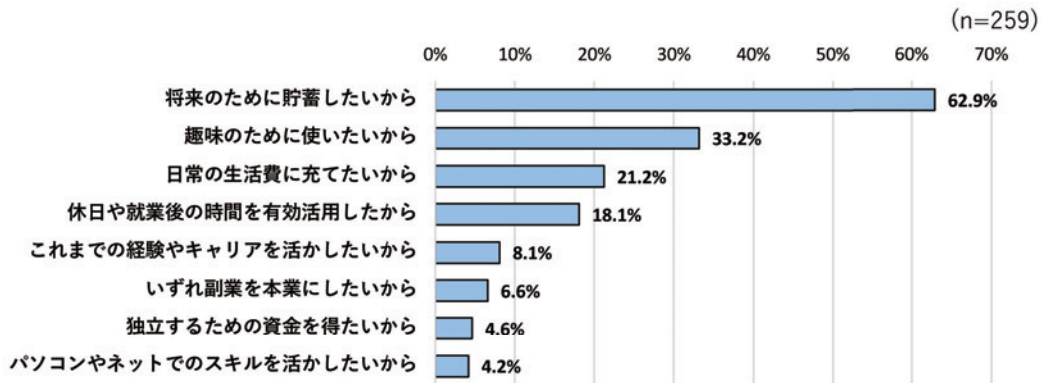
経年比較〔2018-2023年度〕



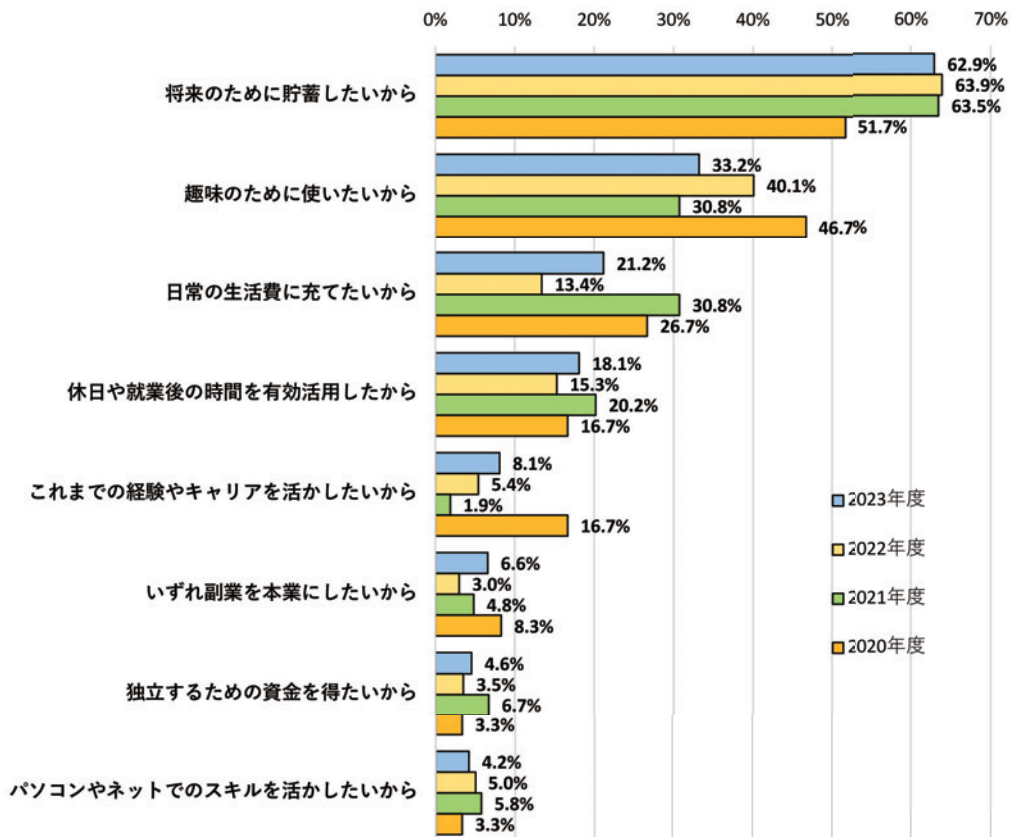
□利用したい □どちらかといえば利用したい □どちらかといえば利用したくない □利用したくない

問10

【問9で1または2を回答した方へ】  
副業をしたい理由はどれですか？（2つまで選択可）

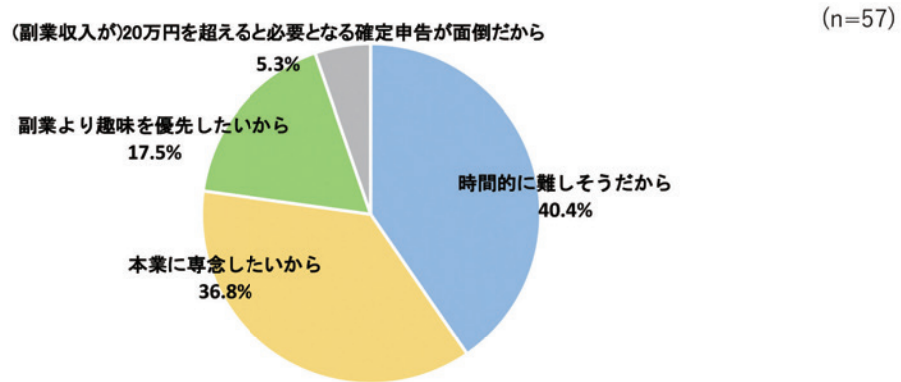


経年比較〔2020-2023年度〕

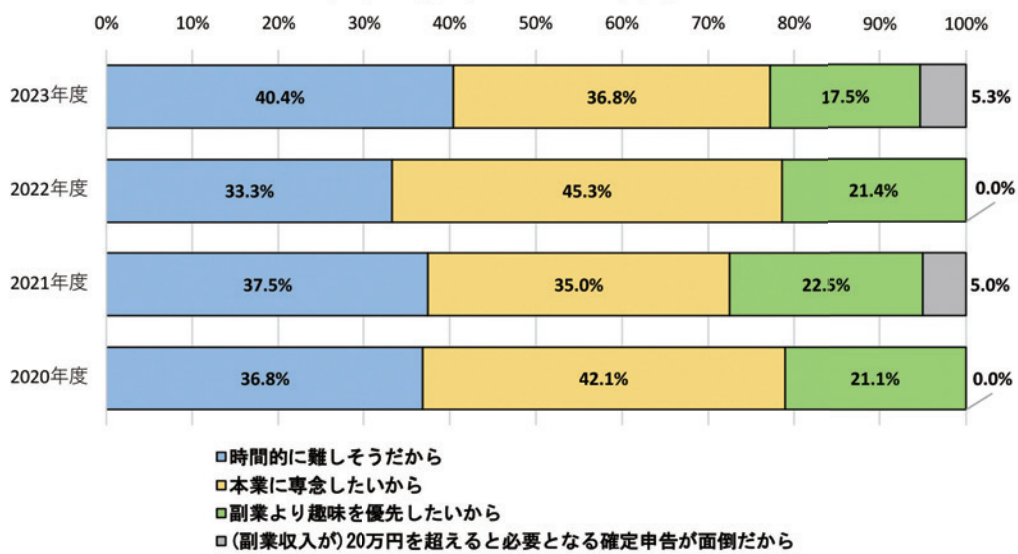


# 問11

【問9で3または4を回答した方へ】  
副業をしたくない理由はどれですか？（2つまで選択可）

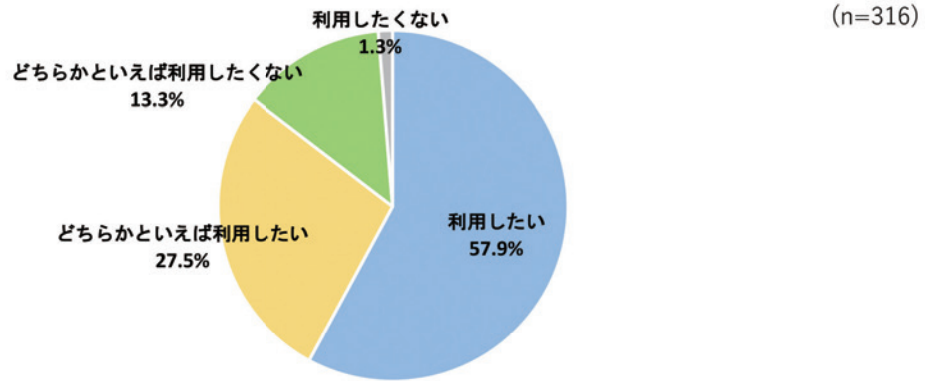


経年比較〔2020-2023年度〕

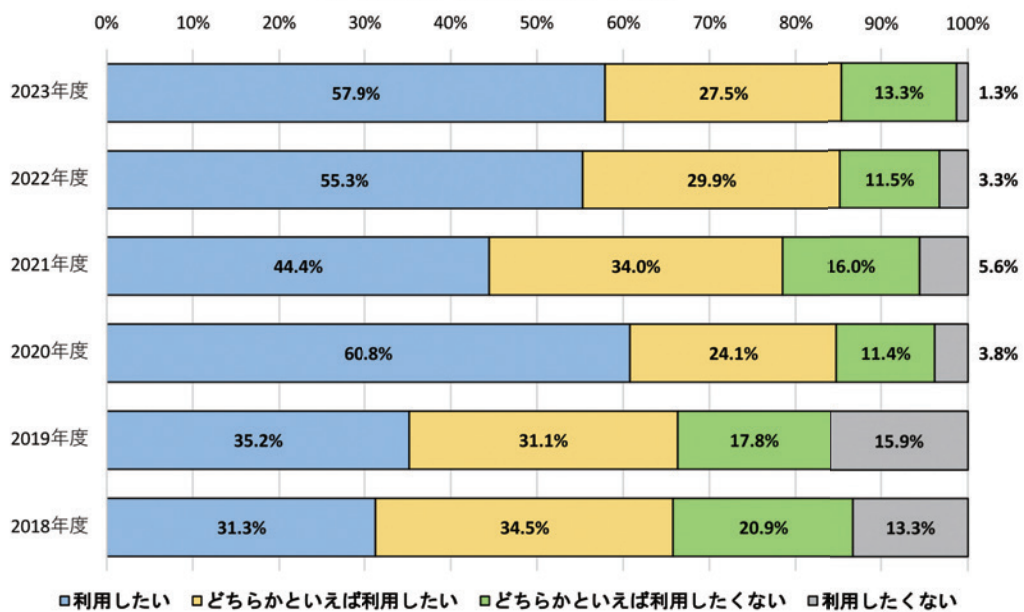


問12

会社にテレワーク制度があった場合、どの程度利用したいと思いますか？  
(1つ選択)

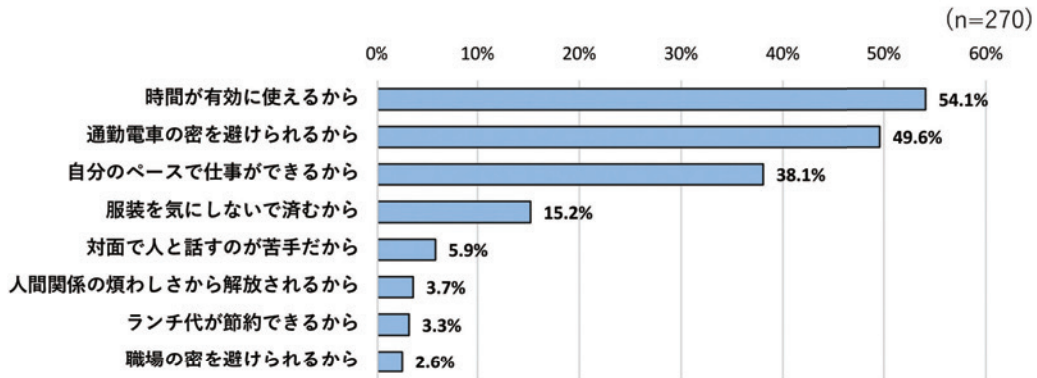


経年比較〔2018-2023年度〕

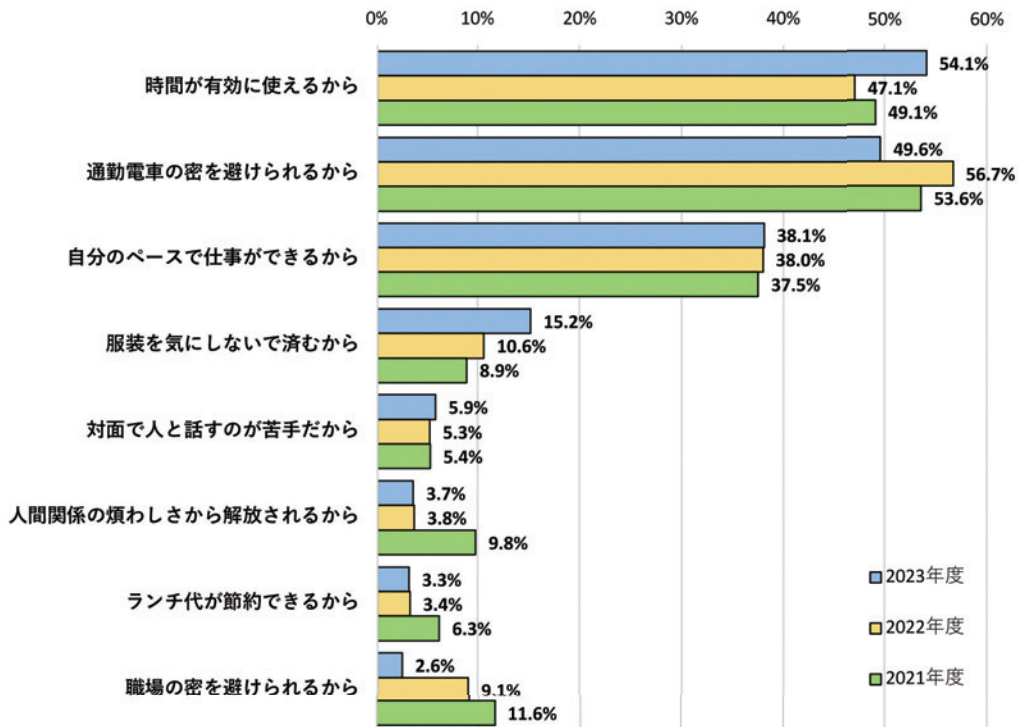


### 問13

【問12で1または2を回答した方へ】  
テレワークをしたい理由はどれですか？（2つまで選択可）



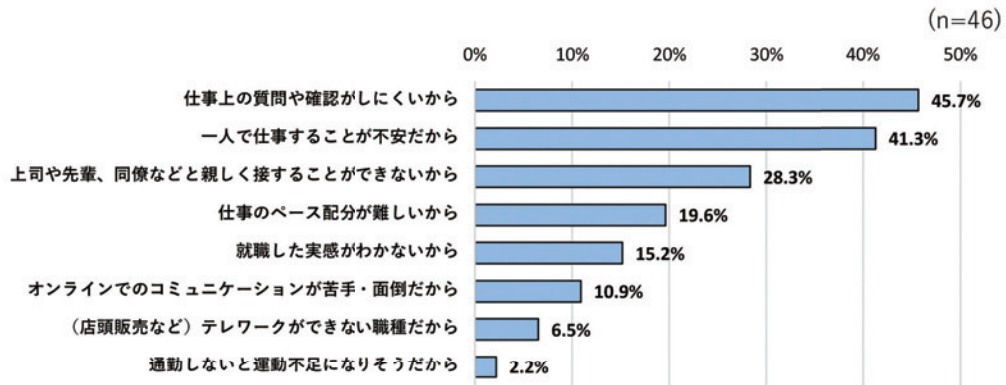
### 経年比較〔2021-2023年度〕



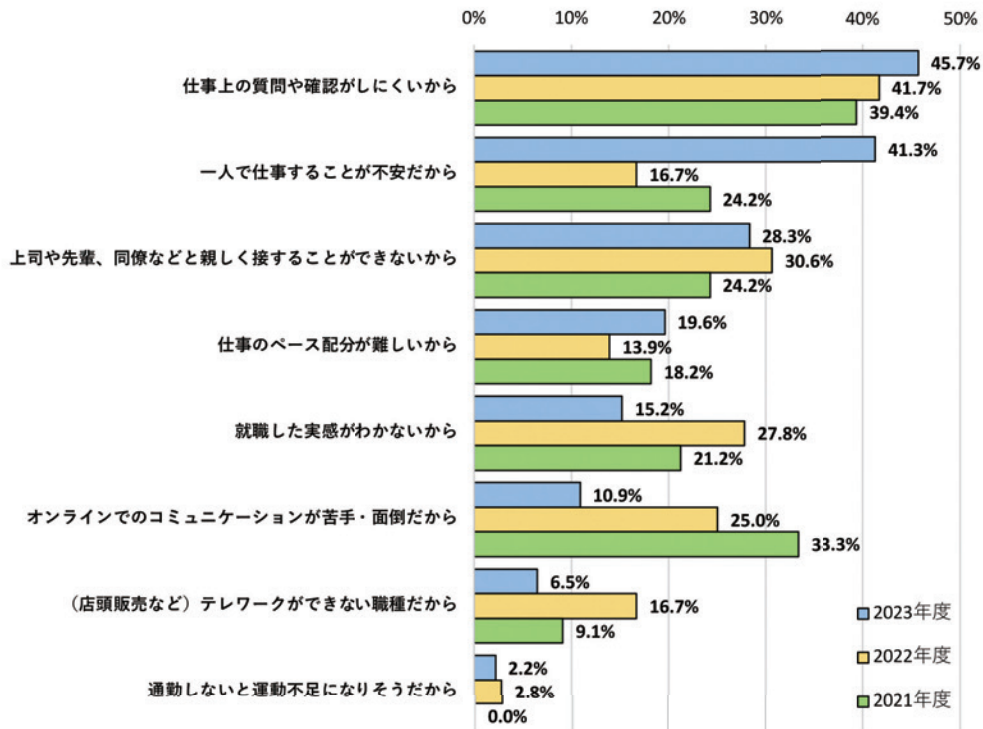


## 問14

【問12で3または4を回答した方へ】  
テレワークをしたくない理由は何ですか？（2つまで選択可）

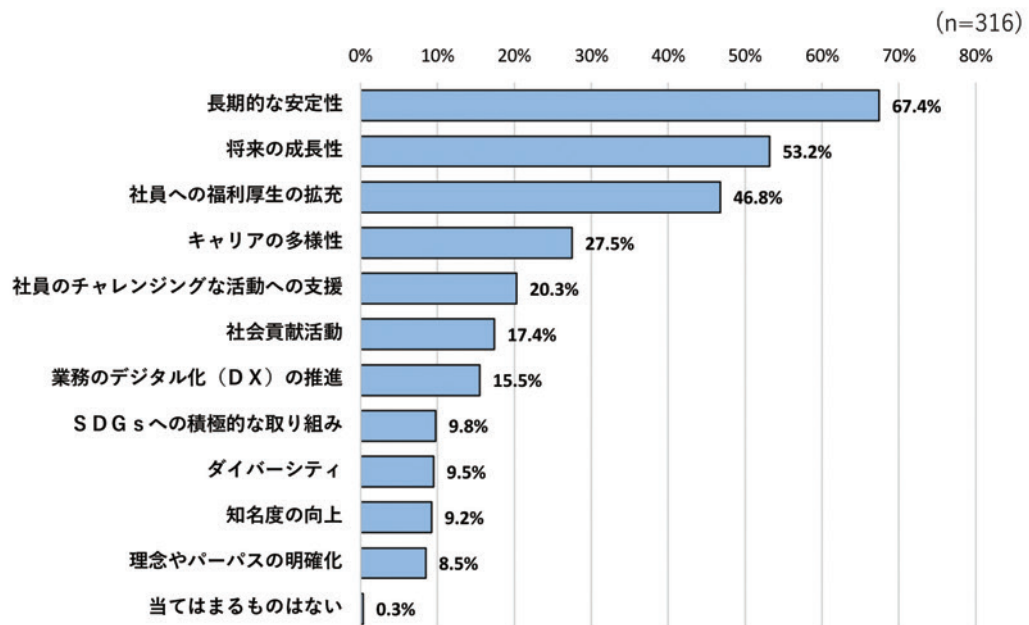


### 経年比較〔2021-2023年度〕



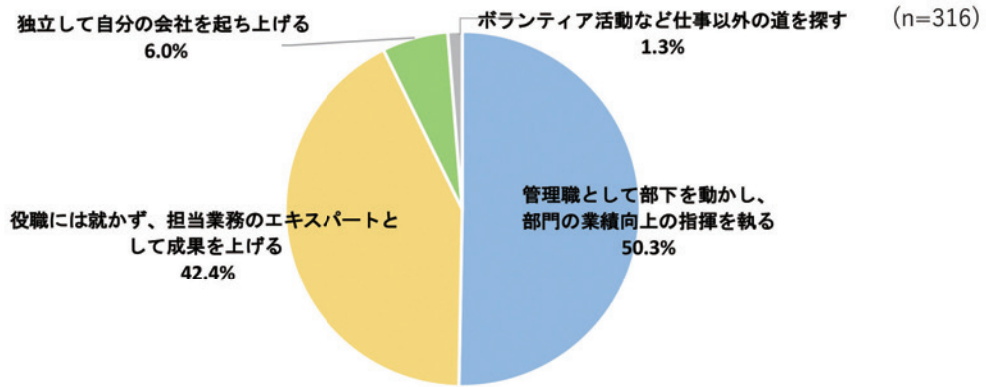
# 問 15

## 働く上で企業に求めるものは何ですか？(当てはまるものをすべて選択)

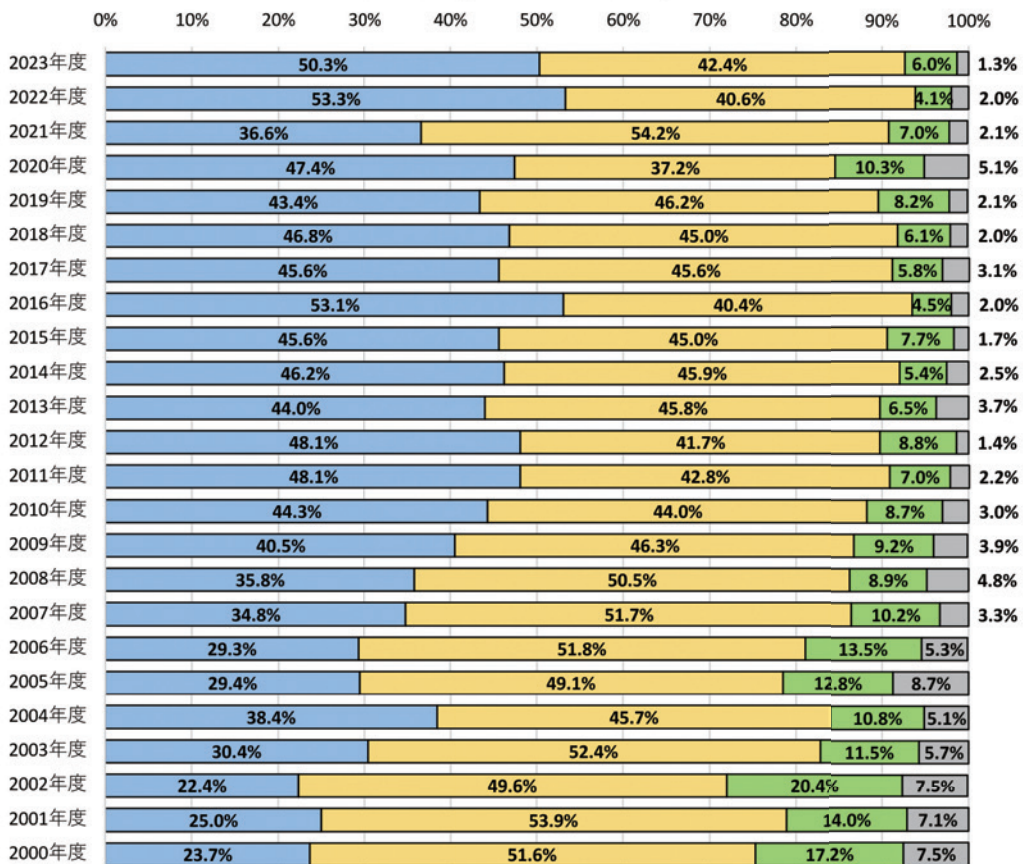


問 16

将来のキャリアについてどのように考えていますか？（1つ選択）



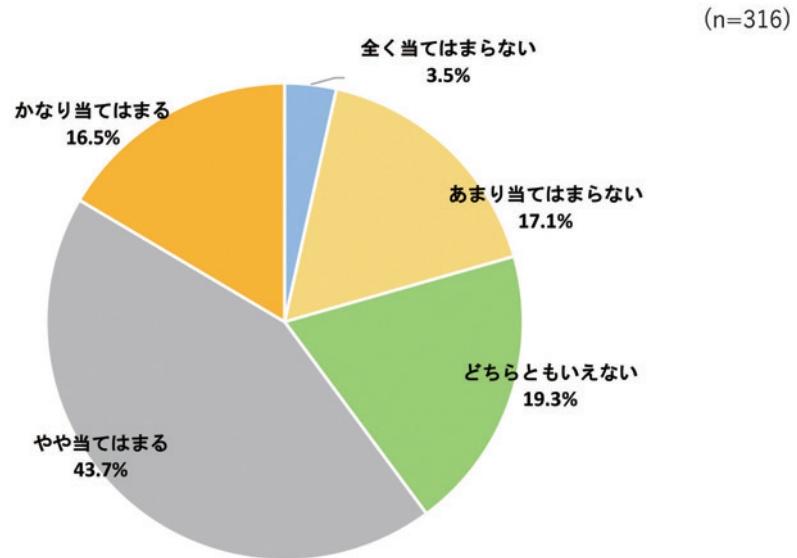
経年比較〔2000-2023年度〕



- 管理職として部下を動かし、部門の業績向上の指揮を執る
- 役職には就かず、担当業務のエキスパートとして成果を上げる
- 独立して自分の会社を起ち上げる
- ボランティア活動など仕事以外の道を探す

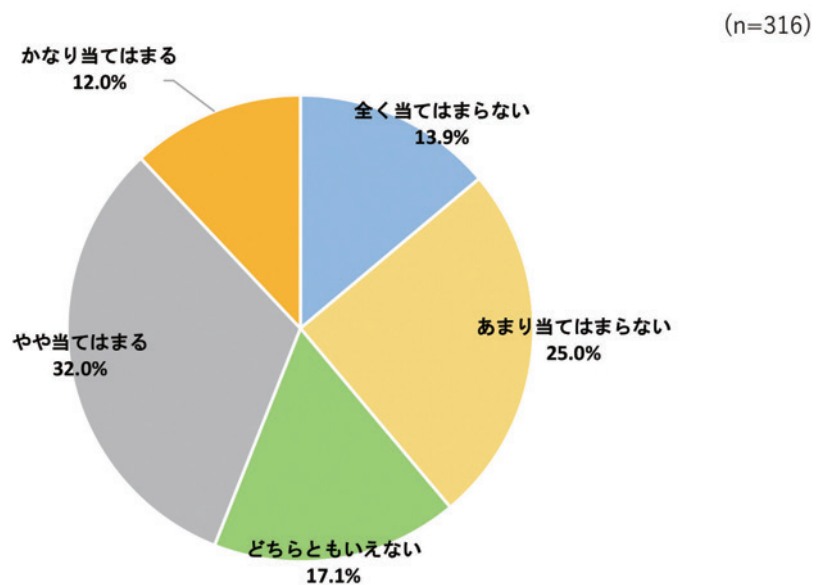
問17

あなたは学生時代（最終学歴：大卒の方は大学時代、高卒の方は高校時代）、学校の勉強をしっかりとこないましたか？（1つ選択）



問18

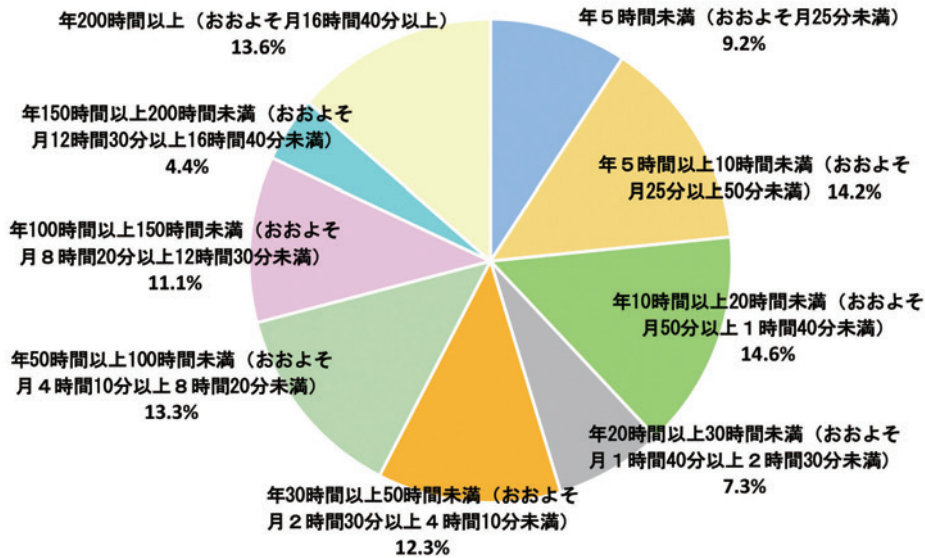
あなたは学生時代（最終学歴：大卒の方は大学時代、高卒の方は高校時代）、学校以外の勉強（資格取得など）をしっかりとこないましたか？（1つ選択）



問19

就業時間外や休日において、どの程度の時間を自己啓発(=仕事とは別に自分自身の主体的な意思で学ぶこと)に充てたいと思いますか？(1つ選択)

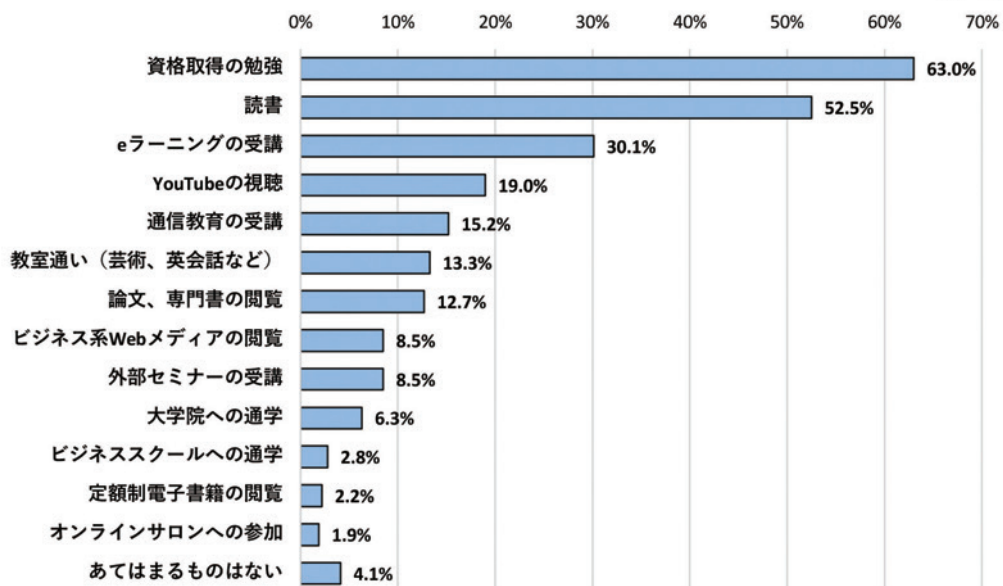
(n=316)



問20

自己啓発でどのような「学習体験」をしたいですか？(当てはまるものをすべて選択)

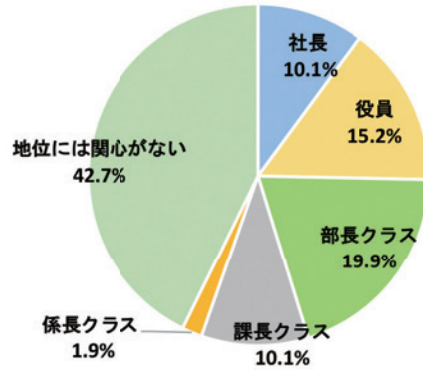
(n=316)



問 21

あなたが最終的に目標とする役職・地位は？（1つ選択）

(n=316)



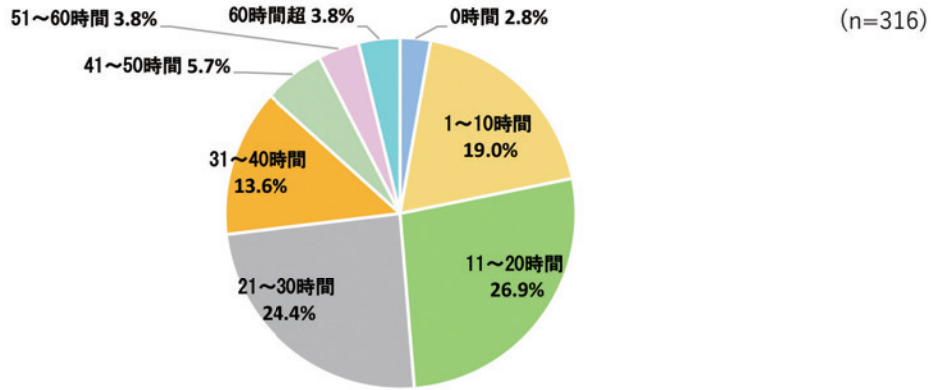
経年比較〔1990-2023年度〕 ※2000年度から選択肢に「係長クラス」を追加

年度	社長	役員	部長クラス	課長クラス	係長クラス	地位には関心がない
2023年度	10.1%	15.2%	19.9%	10.1%	1.9%	42.7%
2022年度	7.8%	20.1%	27.0%	7.4%	2.9%	34.8%
2021年度	9.0%	14.6%	15.3%	6.9%	3.5%	50.7%
2020年度	8.9%	20.3%	20.3%	5.1%	1.3%	44.3%
2019年度	10.8%	15.3%	19.8%	7.5%	3.8%	42.7%
2018年度	11.0%	17.8%	20.9%	10.3%	2.2%	37.8%
2017年度	10.6%	21.7%	20.1%	5.6%	2.9%	39.1%
2016年度	9.5%	18.6%	21.1%	10.7%	2.9%	37.2%
2015年度	11.5%	20.4%	19.6%	6.0%	3.1%	39.4%
2014年度	9.0%	20.7%	21.1%	6.5%	1.3%	41.5%
2013年度	11.9%	18.9%	23.2%	7.8%	3.5%	34.7%
2012年度	14.3%	19.6%	22.9%	6.1%	1.0%	36.1%
2011年度	17.4%	22.7%	19.1%	6.8%	1.4%	32.6%
2010年度	14.9%	18.9%	19.7%	8.6%	1.4%	36.5%
2009年度	12.6%	16.3%	16.3%	6.3%	1.4%	47.2%
2008年度	14.6%	18.0%	15.7%	5.6%	1.4%	44.7%
2007年度	12.0%	16.9%	17.1%	5.3%	1.4%	47.4%
2006年度	15.6%	13.7%	14.0%	5.1%	2.3%	49.3%
2005年度	15.9%	12.4%	14.0%	5.2%	1.3%	51.3%
2004年度	16.7%	15.5%	18.9%	4.4%	2.0%	42.5%
2003年度	16.3%	12.6%	17.6%	5.4%	0.4%	47.7%
2002年度	19.7%	10.0%	11.9%	4.0%	1.5%	53.0%
2001年度	16.9%	11.7%	12.8%	3.8%	1.5%	53.3%
2000年度	16.4%	12.3%	13.6%	2.8%	0.6%	54.3%
1999年度	20.4%	11.9%	19.2%	14.2%		34.3%
1998年度	16.9%	17.4%	16.9%	6.8%		42.0%
1997年度	22.4%	15.3%	15.9%	8.8%		37.5%
1996年度	22.9%	16.1%	15.8%	10.6%		34.6%
1995年度	18.9%	15.8%	16.8%	11.6%		37.0%
1994年度	20.3%	18.4%	17.3%	12.8%		31.2%
1993年度	19.0%	15.4%	17.1%	10.2%		38.4%
1992年度	17.1%	16.1%	19.7%	12.7%		34.5%
1991年度	13.8%	16.2%	17.8%	9.4%		42.8%
1990年度	34.4%	10.4%	14.1%	3.1%		38.0%

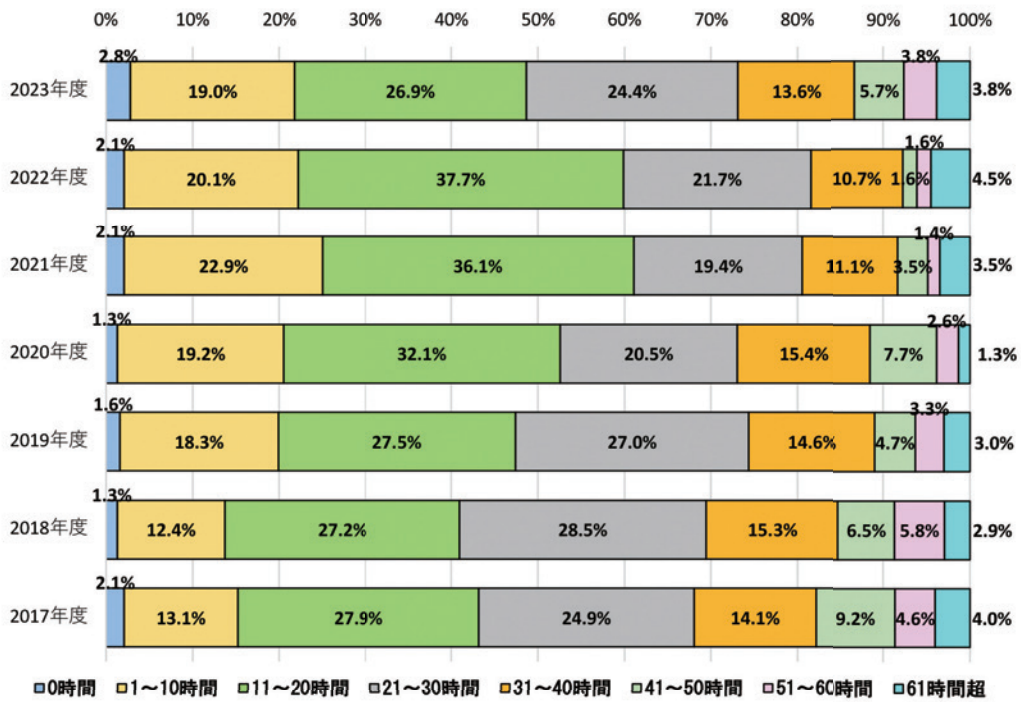
■社長 ■役員 ■部長クラス ■課長クラス ■係長クラス ■地位には関心がない

問 22

1か月の残業時間について、あなたは何時間程度なら許容できますか？  
(1つ選択)

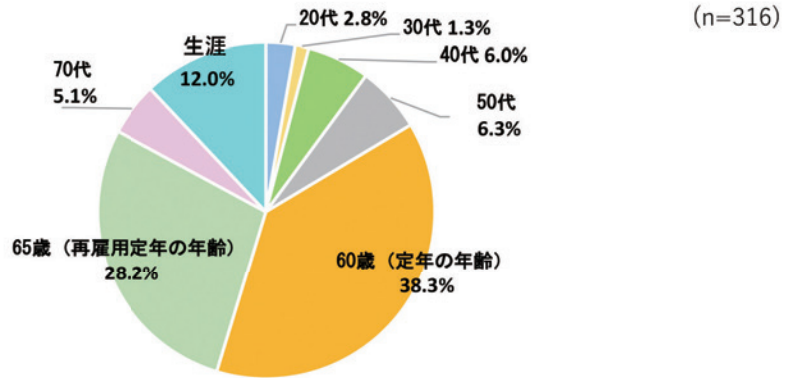


経年比較〔2017-2023年度〕

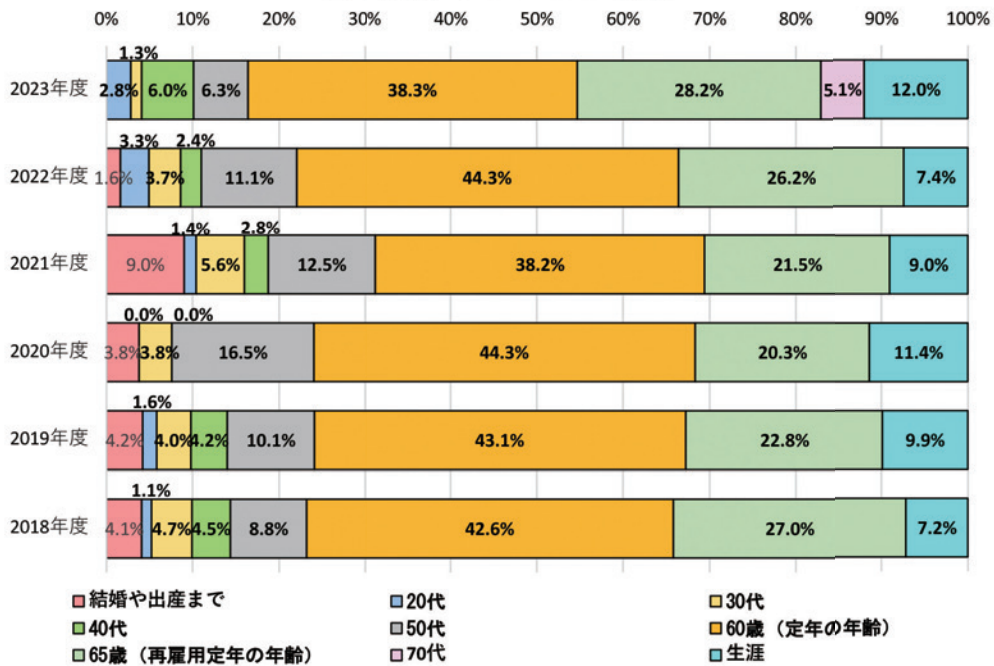


問 23

“人生100年時代”と言われている中で、あなたはいつまで被雇用者（会社勤めなど）として働きたいと思いますか？（1つ選択）



経年比較〔2018-2023年度〕



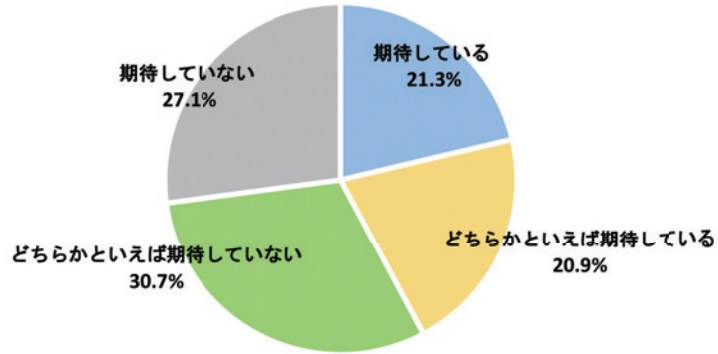
注：「結婚や出産まで」は2023年度に選択肢から削除／「70代」を2023年度に選択肢として追加



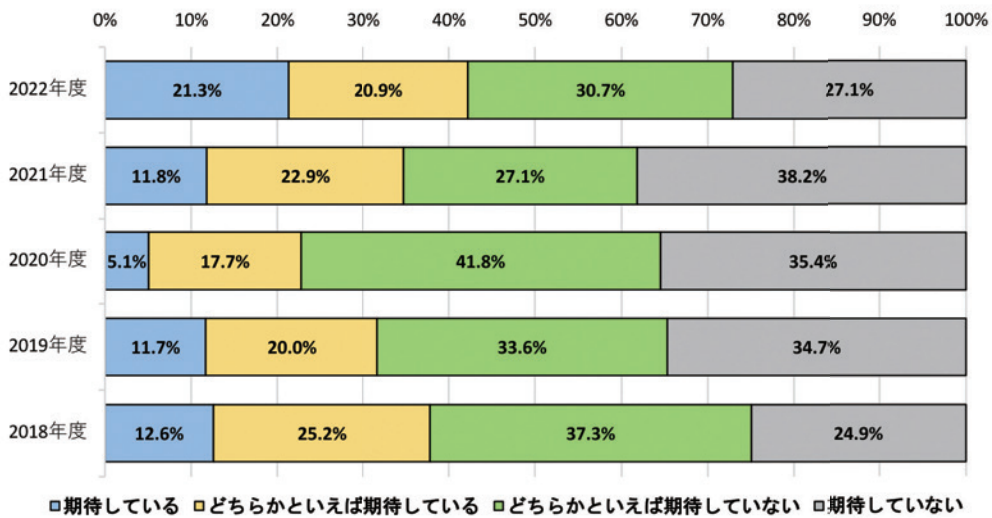
問 24

将来支給される公的年金（国民年金・厚生年金等）を老後の収入として期待していますか？（1つ選択）

(n=316)

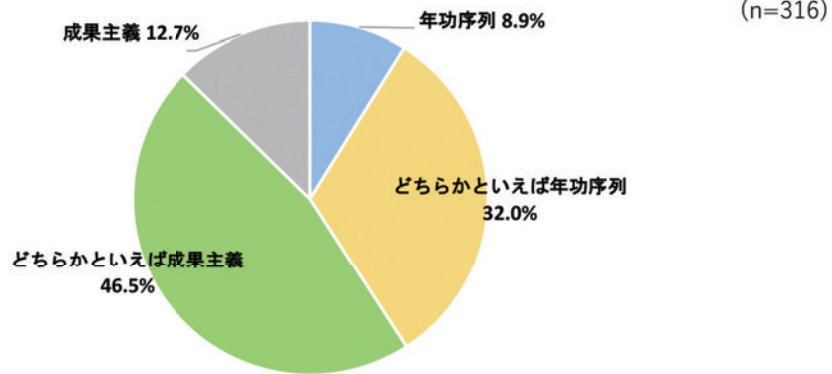


経年比較〔2018-2022年度〕

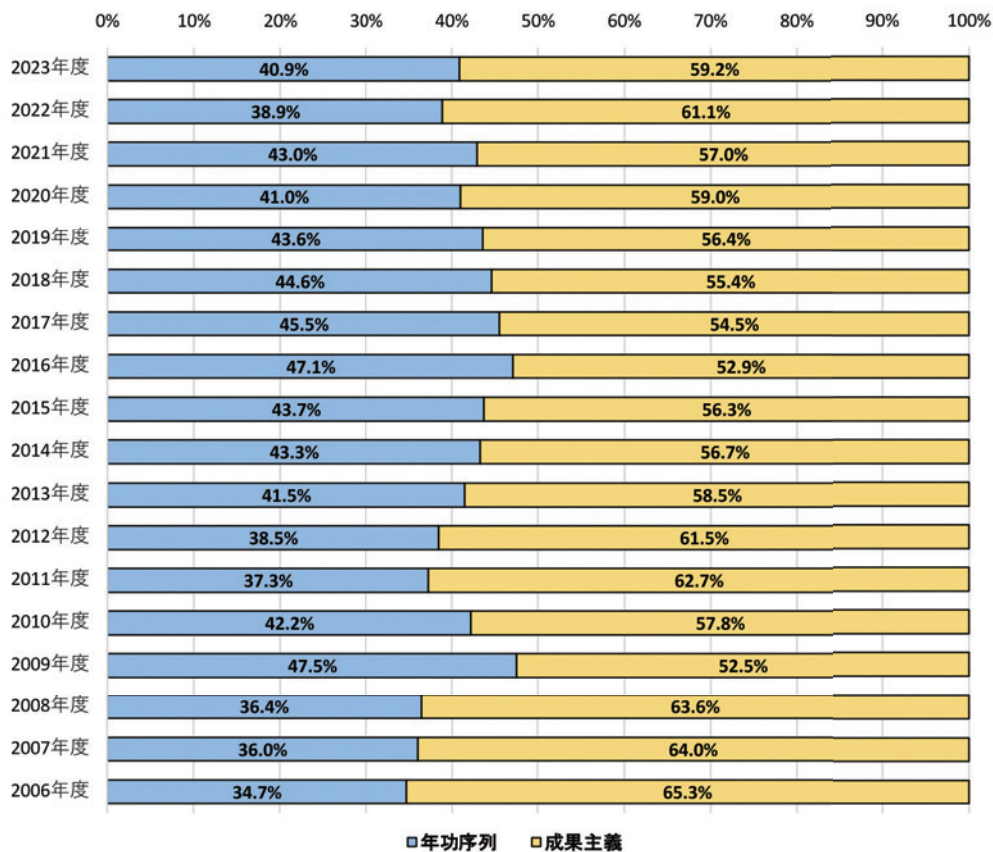


問 25

年齢や在籍年数に応じて昇進や待遇が決まる年功序列的な人事制度と、業績に応じて決まる成果主義的に人事制度ではどちらを望みますか？(1つ選択)



経年比較〔2006-2023年度〕

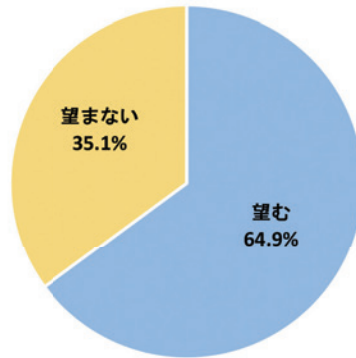


注：2023年度は「どちらかといえば年功序列」を「年功序列」に、「どちらかといえば成果主義」を「成果主義」にそれぞれ合算

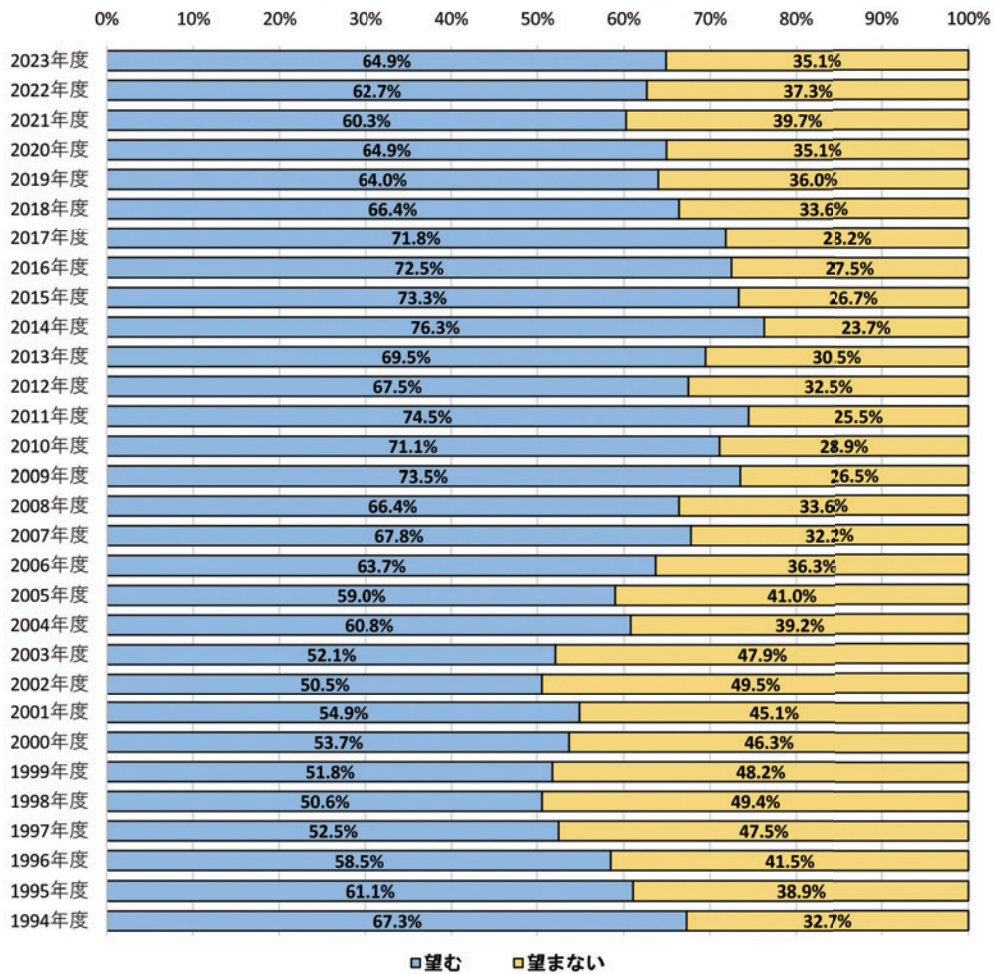
問 26

“終身雇用制度”を望みますか？(1つ選択)

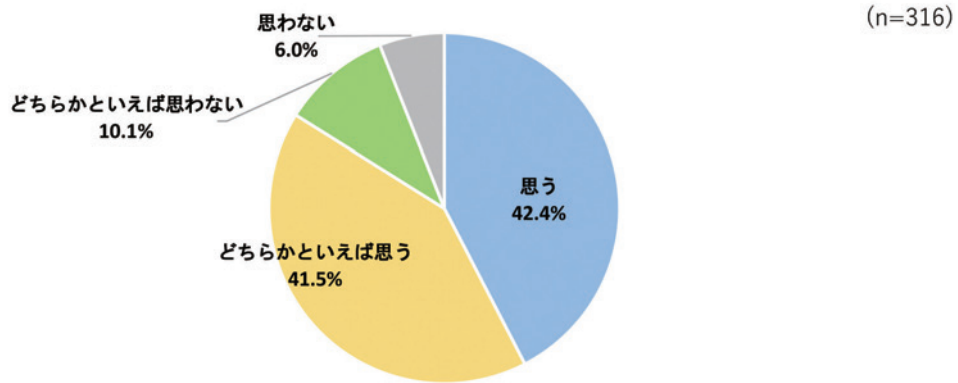
(n=316)



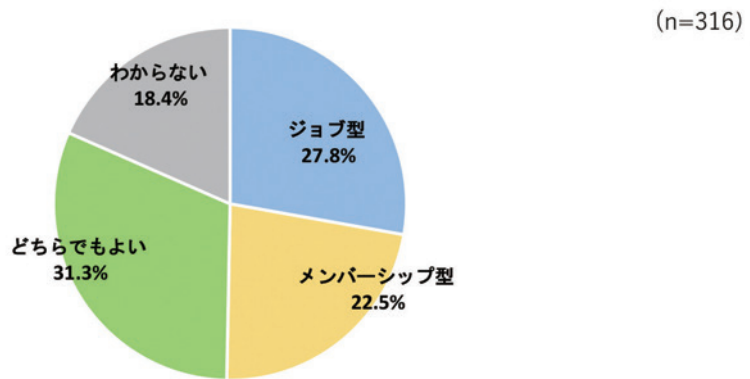
経年比較〔1994-2023年度〕



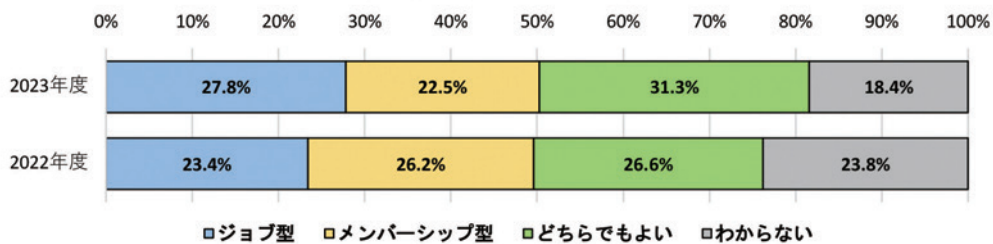
問 27 同じ会社に長く勤めたいと思いますか？（1つ選択）



問 28 ジョブ型雇用制度とメンバーシップ型雇用制度ではどちらを望みますか？（1つ選択）

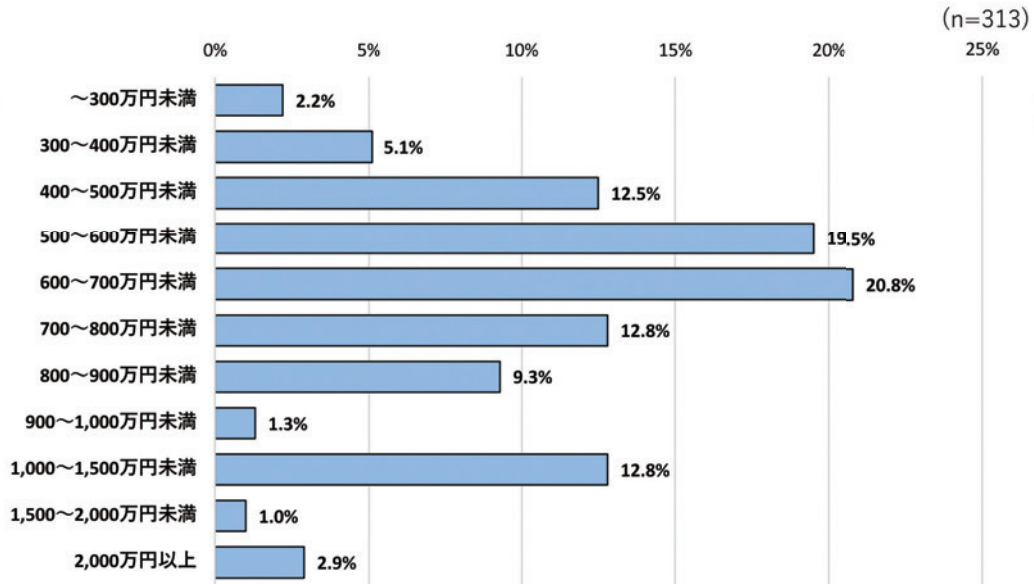


経年比較〔2022-2023年度〕



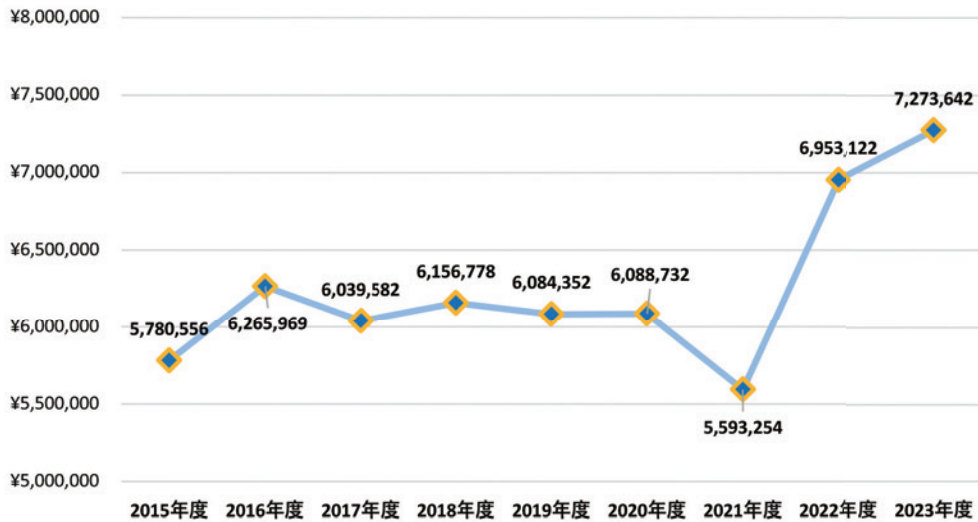
問 29

35歳の時点でのあなたの理想の年収額はどのくらいですか？  
(自由記述)



加重平均値 7,273,642円 / 対昨年度比：+320,520円

経年比較〔2015-2023年度〕



2023年度(第34回)新入社員の  
会社生活調査

2023年7月

学校法人産業能率大学

〒158-8630 東京都世田谷区等々力6-39-15

TEL:03-5758-5117

(総合研究所 マーケティングセンター)